

岡山県の農業概要について



令和7年7月

中国四国農政局 岡山県拠点

【 も く じ 】

1	農林水産業の概要	・・・	1
2	各地域における農林水産物	・・・	2
3	天気状況	・・・	3
4	土地面積	・・・	4
5	世帯・人口の増減	・・・	5
6	農業地域類別区分状況	・・・	6
7	生産年齢人口等の推移	・・・	7
8	農業経営体数の推移・経営形態別のシェア	・・・	8
9	農業従事者数と基幹的農業従事者数の推移	・・・	9
10	基幹的農業従事者の年齢構成	・・・	10
11	農村における人口減少と高齢化	・・・	11
12	新規就農者の動向	・・・	12
13	法人経営体の推移	・・・	13
14	農業産出額及び生産農業所得	・・・	14
15	市町村別農業産出額	・・・	15
16	水稻の作付状況	・・・	16
17	水田における主食用米以外の作物の作付面積の推移	・・・	17
18	岡山県野菜農業振興計画	・・・	18
19	野菜2022年産・果樹2023年産の収穫量	・・・	19
20	もも収穫量及び栽培面積の推移	・・・	20

21	ぶどう（生食用）収穫量及び品種別栽培面積の推移	・・・	21
22	有機農業の取組面積の現状	・・・	22
23	畜産物の飼養頭(羽)数及び飼養戸数の推移	・・・	23
24	飼料作物の作付状況	・・・	24
25	野生鳥獣による農作物被害の推移	・・・	25
26	農林水産物・食品の輸出	・・・	26
27	岡山県のデータ①	・・・	27
27	岡山県のデータ②	・・・	28
28	農業基礎データ①	・・・	29
28	農業基礎データ②	・・・	30
29	林業基礎データ	・・・	31
30	漁業基礎データ	・・・	32
31	農林水産業の話題等	・・・	33



1. 農林水産業の概要

特徴・取組

岡山県は、山陽道の中央に位置し、東は兵庫県、西は広島県に隣接、南は瀬戸内海を臨んで四国に、北は山陰地方と接している。

「晴れの国」と言われるほど穏やかな気候に恵まれ、中国山地に源を発する吉井川、旭川、高梁（たかはし）川は、良質で豊かな水を常にたたえ、生活・工業・農業用水として利用されている。

全国に比べ製造業などの第2次産業の生産額割合が高く、水島工業地帯には、石油、化学、鉄鋼など幅広い分野の高度な技術力を有する大企業が集積しており、県内製造品出荷額等の約5割を占めている。

県中北部では、ぶどう、トマト、アスパラガス、黒大豆、りんどう、和牛肉、ジャージー牛乳など地域の自然環境を生かした多品目な農林水産物を生産し、西日本有数の木材集積市場、加工産地も形成されている。

南部では、西日本屈指の農地が広がり、米麦に加え、もも、ぶどう、なす、黄にら、キャベツ、たまねぎ、スイートピーのほか、のり、かきに代表される豊富な海の幸もある。

全国に先駆けて、化学肥料・農薬（天敵を除く）を一切使わない農産物づくりにも取り組み、国の有機JAS規格を基本に、より厳しい基準で「おかやま有機無農薬農産物」として、県独自の認証制度による環境負荷低減の取組を進めている。

ももやぶどうは、首都圏や海外で高級果物として品質の高さが認知されており、高品質な新品種育成や白桃のシリーズ化など供給力強化に取り組む。

引き続き、高い栽培技術力に支えられた県産果物を首都圏や関西圏を中心にPRすることで、岡山ブランドの認知度を高め、他の県産農林水産物の付加価値創造を目指す。

主な農林水産物

もも

県内各地で栽培されている。清水（しみず）白桃の栽培面積は日本一。（収穫量全国6位）



ぶどう

マスカットやピオーネなどの多彩な品種が県内全域で栽培されている。（収穫量全国3位）



鶏卵

県内全域で生産され、全国でも有数の産地となっている。（生産量全国4位）



生乳

蒜山高原のジャージー牛は全国トップシェアの飼養頭数。（生産量全国9位）



なす

県南部の備南地域を中心に栽培されている。特に「千両なす」は市場でトップクラスの評価を得ている。



ごぼう

高梁川支流の砂地で生産している「連島（つらじま）ごぼう」はGI登録産品。



二条大麦

主に県南部の干拓地でビールの原料として栽培されている。（収穫量全国4位）



水稻

朝日、アケボノや酒造好適米の雄町（おまち）など、県独自品種の作付けが約3割を占める。



ひのき

県北部を中心に植えられ、全国トップクラスの生産量を誇る。加工製材品「美作（みまさか）材」は高い評価を受けている。



かき類（養殖）

県を代表する水産物の一つで、高品質なかきを全国に出荷している。（収穫量全国3位）



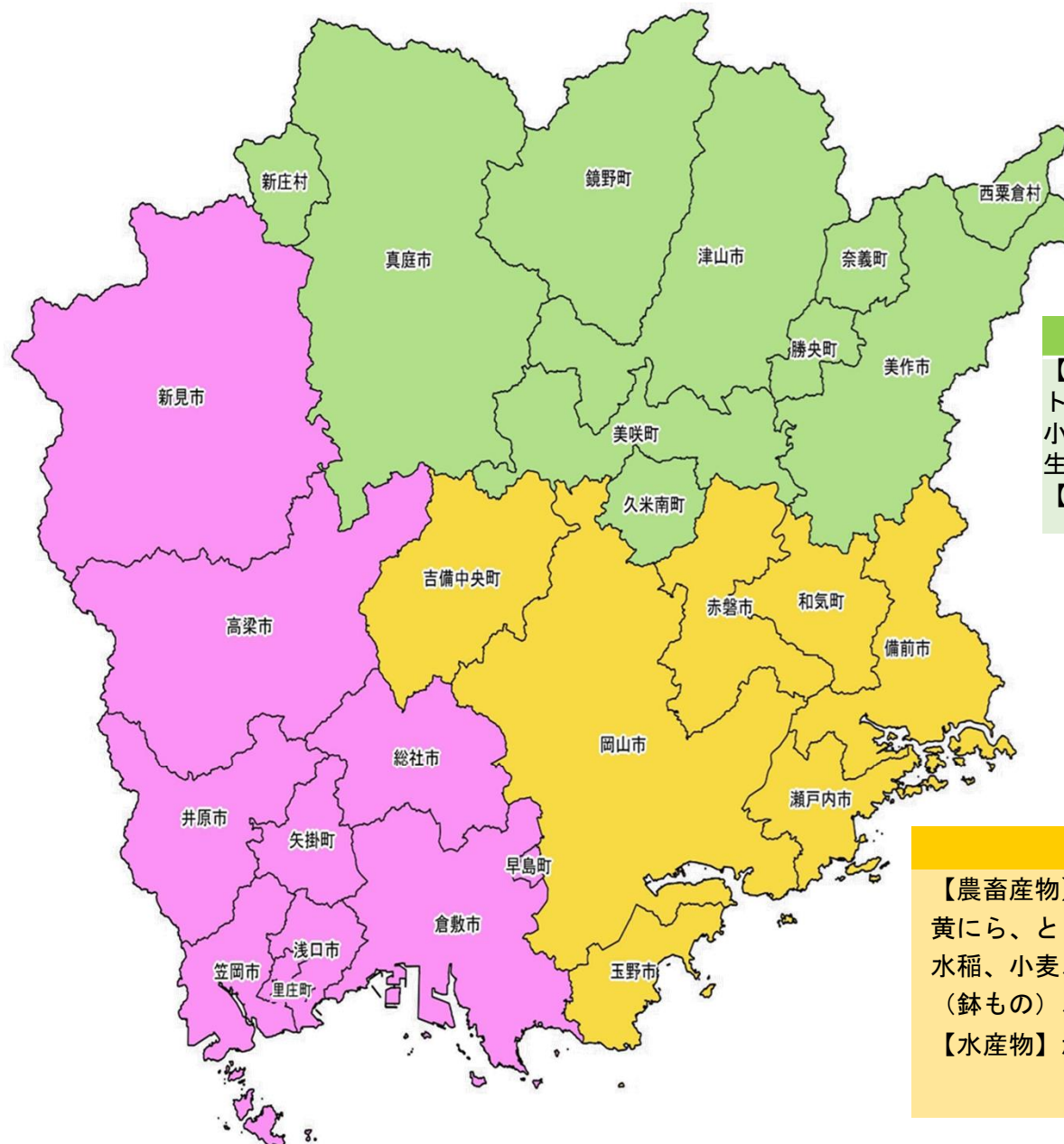
2. 各地域における農林水産物

備中（びっちゅう）地域

【農畜産物】もも、ぶどう、トマト、れんこん、ごぼう、しょうが、水稻、ばら、スイートピー、りんどう、生乳、肉用牛、豚、鶏卵、ブロイラー、まつたけ

【林産物】ひのき

【水産物】かき類（養殖）、くろのり（養殖）



美作（みまさか）地域

【農畜産物】ぶどう、アスパラガス、トマト、だいこん、しょうが、水稻、小麦、黒大豆、そば、りんどう、茶、生乳、肉用牛、鶏卵

【林産物】ひのき

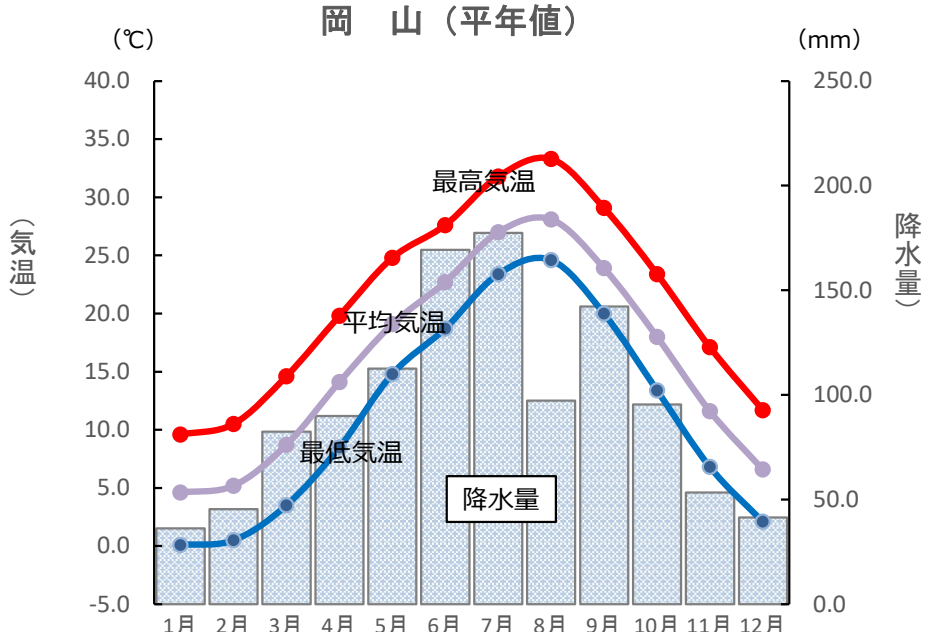
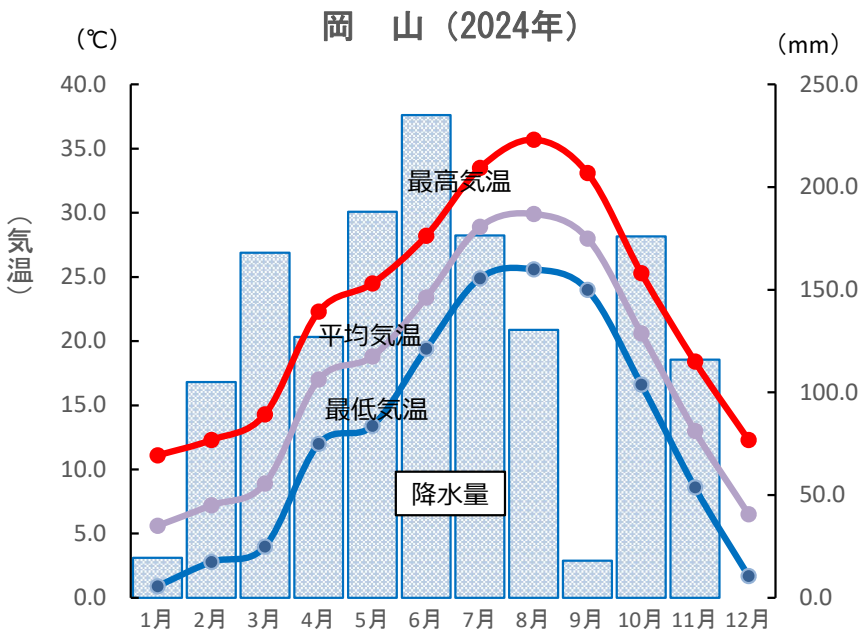
備前（びぜん）地域

【農畜産物】もも、ぶどう、なす、はくさい、黄にら、とうがん、マッシュルーム、愛宕梨、水稻、小麦、二条大麦、はだか麦、洋ラン類（鉢もの）、肉用牛

【水産物】かき類（養殖）、くろのり（養殖）

3. 天気状況

- 岡山県は、山陽道の中央に位置し、東は兵庫県、西は広島県に隣接、南は瀬戸内海を臨んで四国に、北は山陰地方と接している。「晴れの国」と言われるほど穏やかな気候に恵まれ、中国山地に源を発する吉井川、旭川、高梁川は、良質で豊かな水を常にたたえ、生活・工業・農業用水として利用されている。
- 2024年は平年値に比べ、平均気温で1.5℃、最高気温は1.5℃高くなっている。降水量は316.4mm多かった。



区 分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
岡山	最高気温	2024年	11.1	12.3	14.3	22.3	24.5	28.2	33.5	35.7	33.1	25.3	18.4	12.3	22.6
		平年値	9.6	10.5	14.6	19.8	24.8	27.6	31.8	33.3	29.1	23.4	17.1	11.7	21.1
		平年差	1.5	1.8	-0.3	2.5	-0.3	0.6	1.7	2.4	4.0	1.9	1.3	0.6	1.5
	平均気温	2024年	5.6	7.2	8.9	17.0	18.8	23.4	28.9	29.9	28.0	20.6	13.0	6.5	17.3
		平年値	4.6	5.2	8.7	14.1	19.1	22.7	27.0	28.1	23.9	18.0	11.6	6.6	15.8
		平年差	1.0	2.0	0.2	2.9	-0.3	0.7	1.9	1.8	4.1	2.6	1.4	-0.1	1.5
	最低気温	2024年	0.9	2.8	4.0	12.0	13.4	19.4	24.9	25.6	24.0	16.6	8.6	1.7	12.8
		平年値	0.1	0.5	3.5	8.5	14.8	18.7	23.4	24.6	20.0	13.4	6.8	2.1	11.4
		平年差	0.8	2.3	0.5	3.5	-1.4	0.7	1.5	1.0	4.0	3.2	1.8	-0.4	1.4
	降水量	2024年	19.5	105.0	168.0	127.0	188.0	235.0	176.5	130.5	18.0	176.0	116.0	0.0	1459.5
		平年値	36.2	45.4	82.5	90.0	112.6	169.3	177.4	97.2	142.2	95.4	53.3	41.5	1143.1
		平年差	-16.7	59.6	85.5	37.0	75.4	65.7	-0.9	33.3	-124.2	80.6	62.7	-41.5	316.4

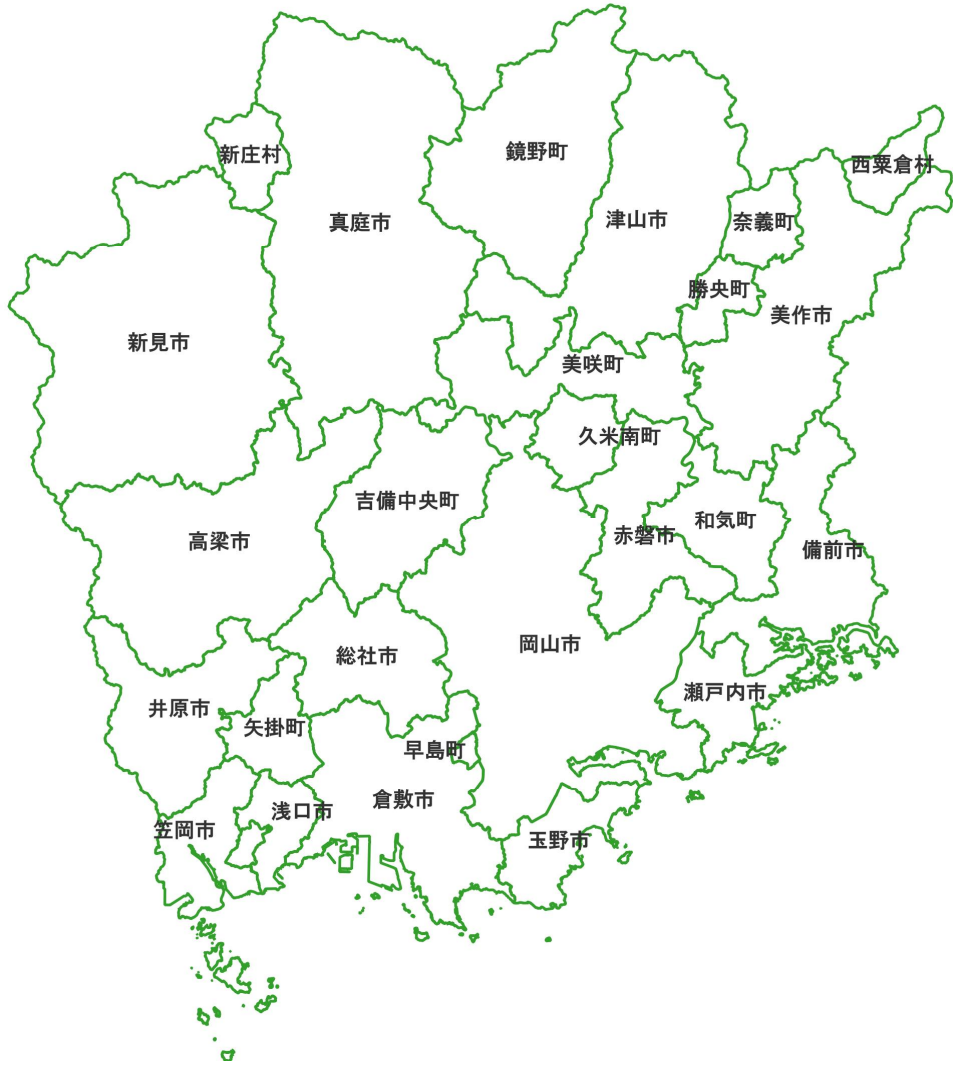
資料: 気象庁HP
注: 統計期間 1991~2020年

4. 土地面積

岡山県の総面積は、7,114.44km²で全国で17位、林野面積は、488,606haで17位。

全国 総面積 377,975.68km²

岡山県(15市10町2村) 7,114.44km² (1.9%)



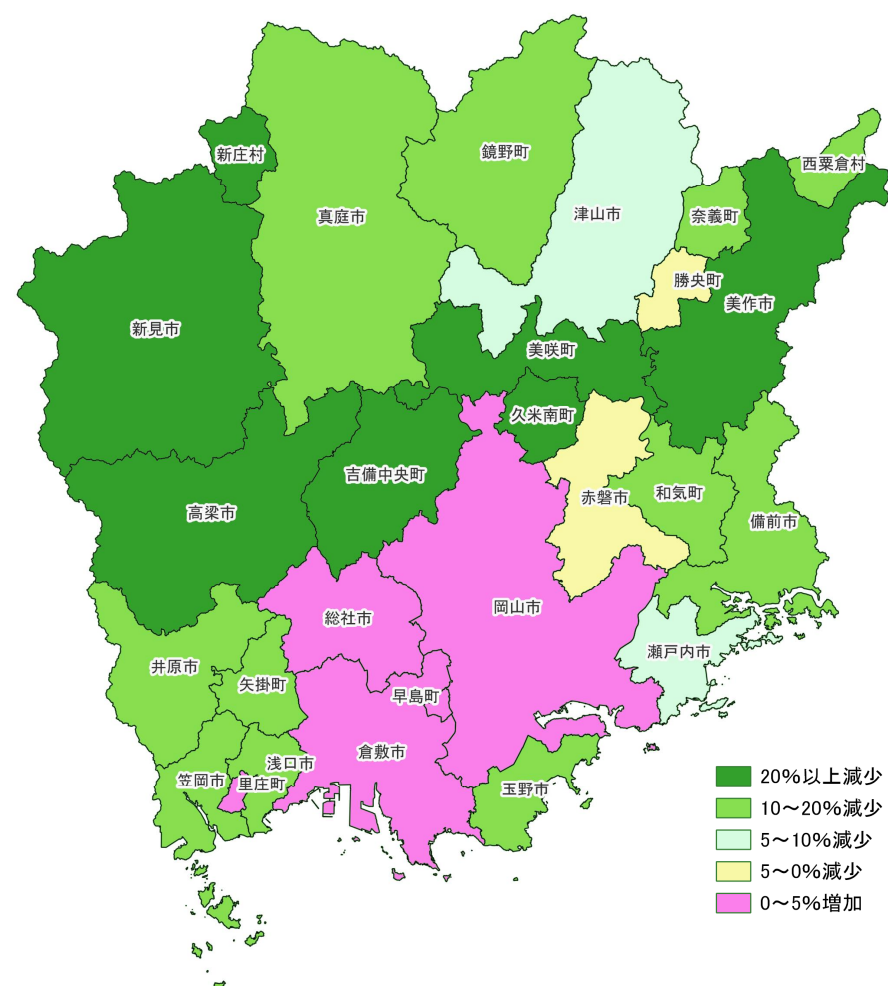
区 分	総面積 (令和7年1月)		林野面積 (令和2年)	
	km ²		ha	
岡山県	1)	7,114.44		488,606
岡山市	1)	789.95		34,884
倉敷市		356.07		9,922
津山市		506.33		35,392
玉野市	1) 2)	103.44		5,908
笠岡市		136.07		5,164
井原市		243.54		15,916
総社市		211.90		13,328
高梁市		546.99		42,797
新見市		793.29		69,043
備前市		258.13		21,034
瀬戸内市		125.46		5,660
赤磐市		209.36		13,262
真庭市		828.53		65,421
美作市		429.29		33,030
浅口市		66.46		2,946
和気町		144.21		10,924
早島町		7.62		92
里庄町		12.23		385
矢掛町		90.62		5,810
新庄村		67.11		6,095
鏡野町		419.68		36,715
勝央町		54.05		2,333
奈義町		69.52		4,930
西粟倉村		57.97		5,379
久米南町		78.65		5,502
美咲町		232.17		17,196
吉備中央町		268.78		19,538

資料：総面積は国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」、
林野面積は農林水産省「2020年農林業センサス（2月1日現在）」
注：1)は、児島湖の水面境界未定のため、単独で面積（7.05）があるが、岡山市及び玉野市の面積合計には含まれないが、県の合計に含まれる。
2)は、玉野市と香川県香川郡直島町の境界が一部未確定のため、参考値を採用。

5. 世帯・人口の増減

- 岡山県は、一般世帯数が15年間で75,137戸増加しているが、総人口では68,832人減少している。
- 高梁市、新見市、美作市、新庄村、久米南町、美咲町、吉備中央町の7市町村では、人口の減少率が20%以上になっている。

2005年⇒2020年人口の増減率



2005年

区 分	一般世帯数	総人口
	世帯	人
岡山県	724,474	1,957,264
岡山市	279,308	696,172
倉敷市	170,469	469,377
津山市	40,047	110,569
玉野市	24,995	67,047
笠岡市	20,192	57,272
井原市	14,899	45,104
総社市	22,708	66,584
高梁市	15,278	38,799
新見市	12,365	36,073
備前市	14,314	40,241
瀬戸内市	13,288	39,081
赤磐市	14,714	43,913
真庭市	16,666	51,782
美作市	11,568	32,479
浅口市	12,203	37,327
和気町	5,452	16,180
早島町	4,009	11,921
里庄町	3,609	10,823
矢掛町	4,896	15,713
新庄村	358	1,019
鏡野町	4,664	14,059
勝央町	3,746	11,263
奈義町	2,009	6,475
西粟倉村	557	1,684
久米南町	1,987	5,690
美咲町	5,642	16,577
吉備中央町	4,531	14,040

2020年

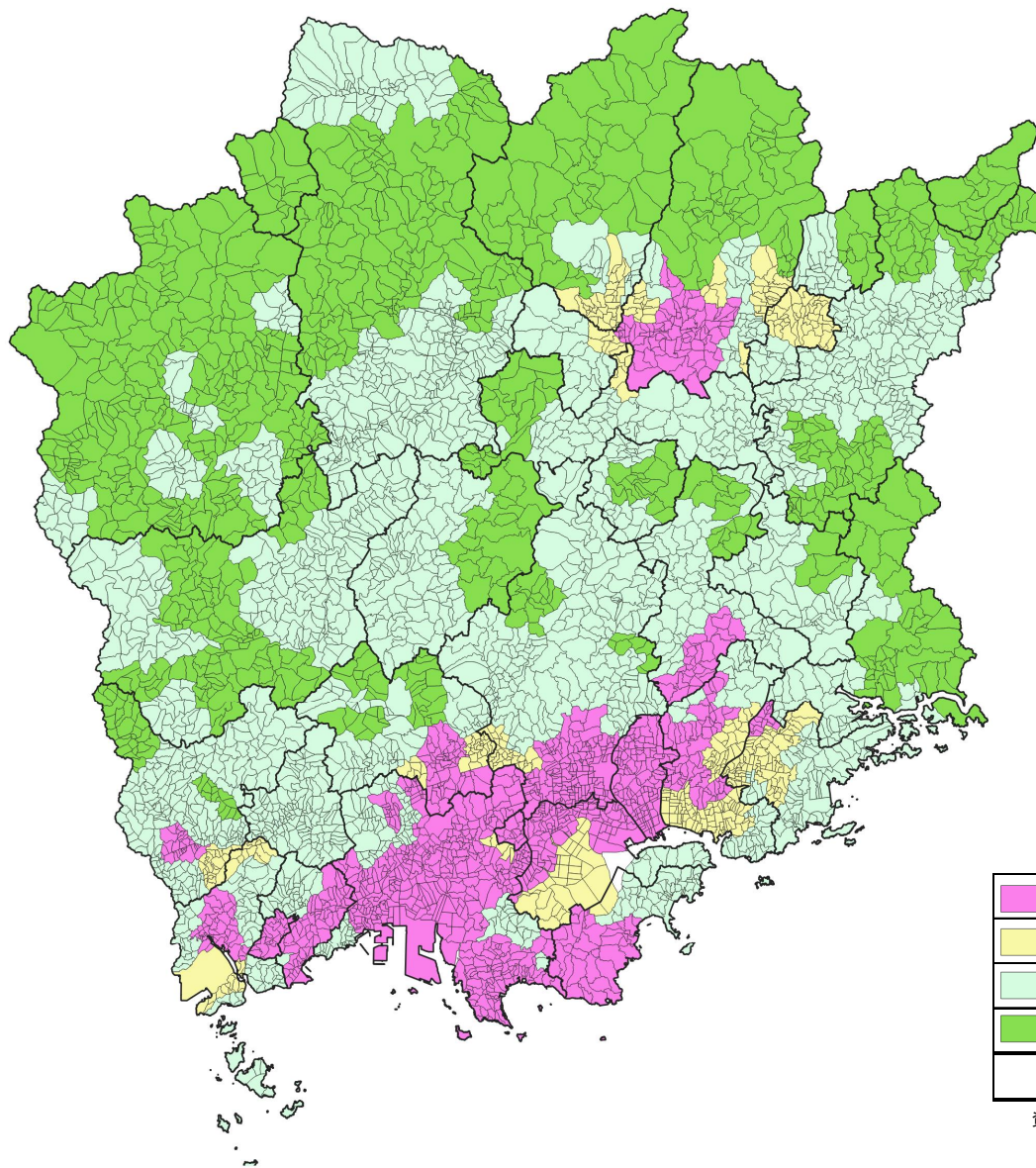
区 分	一般世帯数	総人口
	世帯	人
岡山県	799,611	1,888,432
岡山市	326,986	724,691
倉敷市	198,749	474,592
津山市	41,075	99,937
玉野市	24,020	56,531
笠岡市	18,406	46,088
井原市	14,694	38,384
総社市	27,066	69,030
高梁市	12,838	29,072
新見市	11,287	28,079
備前市	13,444	32,320
瀬戸内市	14,030	36,048
赤磐市	16,406	42,661
真庭市	15,781	42,725
美作市	10,761	25,939
浅口市	12,591	32,772
和気町	5,270	13,623
早島町	4,514	12,368
里庄町	4,128	10,950
矢掛町	4,986	13,414
新庄村	331	813
鏡野町	4,618	12,062
勝央町	4,079	10,888
奈義町	1,934	5,578
西粟倉村	575	1,398
久米南町	1,788	4,530
美咲町	5,014	13,053
吉備中央町	4,240	10,886

資料：総務省統計局「平成17年国勢調査(10月1日現在)」

資料：総務省統計局「令和2年国勢調査(10月1日現在)」

6. 農業地域類別区分状況

- 岡山県は、農業生産において条件不利とされる中山間農業地域が非常に多くっており、農林業センサスの集落単位でみると、中間農業地域（2,105集落）と山間農業地域（1,015集落）を合わせて、中山間農業地域（3,120集落）は、全体の65%を超えている。



農業地域類型とは

農林統計の分析及び農政の推進の基礎資料として活用するため、市区町村及び旧市区町村ごとに、その地域の土地利用上の特性により類型化した統計表章区分として、農業地域類型を設定することとしている。

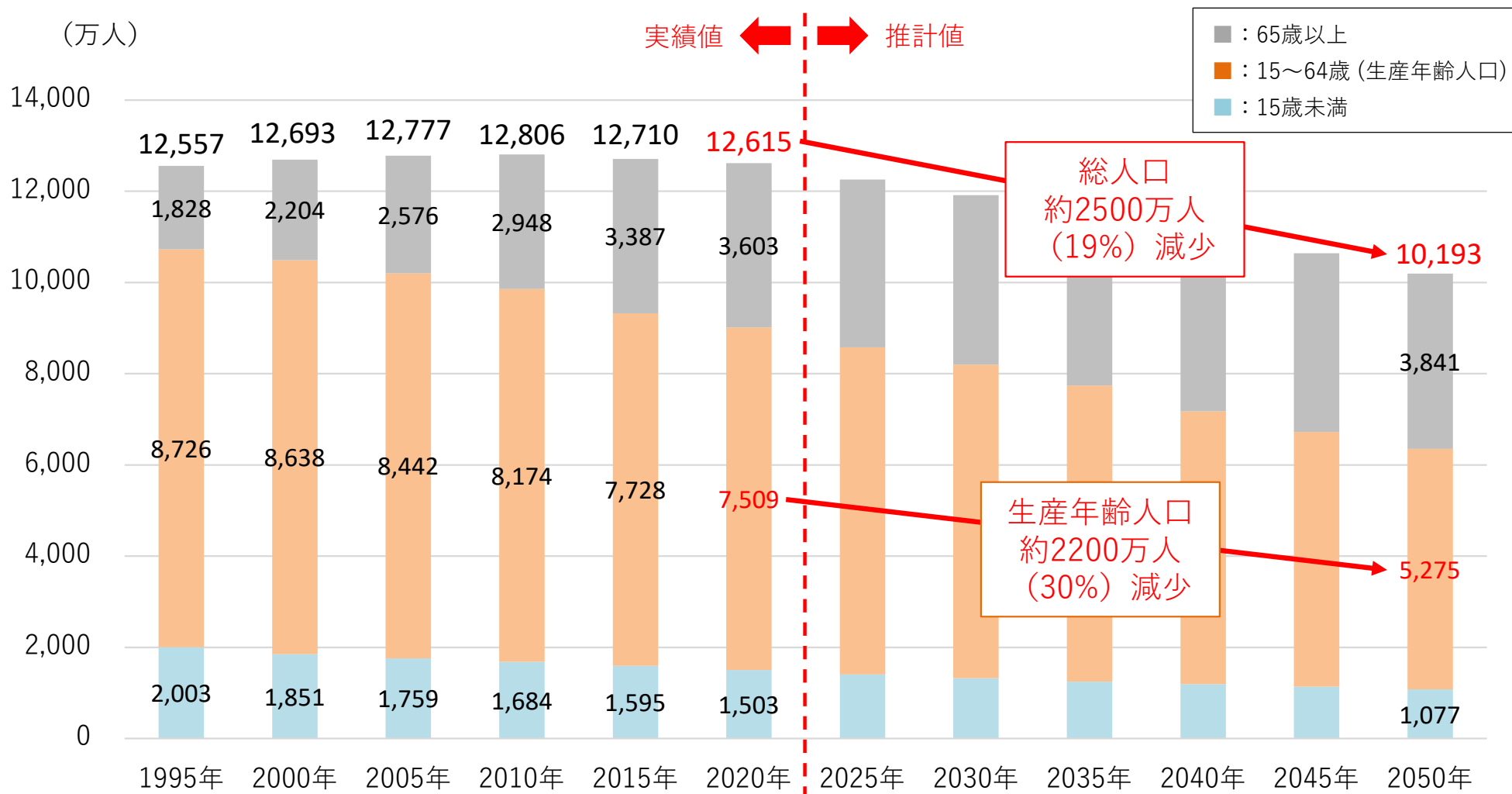
農業地域類型区分集落数

都市的地域	922	(20.4%)
平地農業地域	488	(10.8%)
中間農業地域	2,105	(46.5%)
山間農業地域	1,015	(22.4%)
計	4,530	(100.0%)

資料：農林水産省「農林業センサス」

7. 生産年齢人口等の推移

- ・ 国立社会保障・人口問題研究所（厚労省所管の研究機関）によると、30年後に総人口は現在より約2500万人（豪州の人口に相当）、生産年齢人口は約2200万人減少すると予測されている。
- ・ 各産業において、若年層労働力の奪い合いが起こる可能性がある。



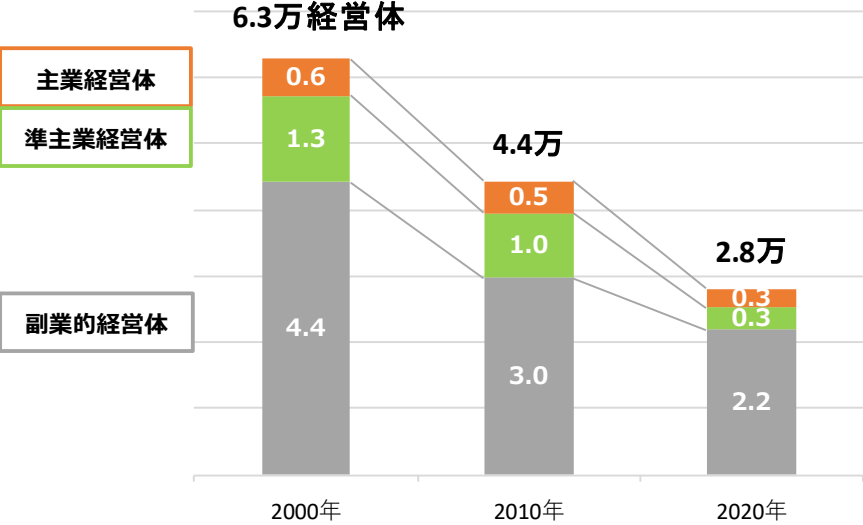
資料：総務省「国勢調査」・「人口推計」

注：2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。

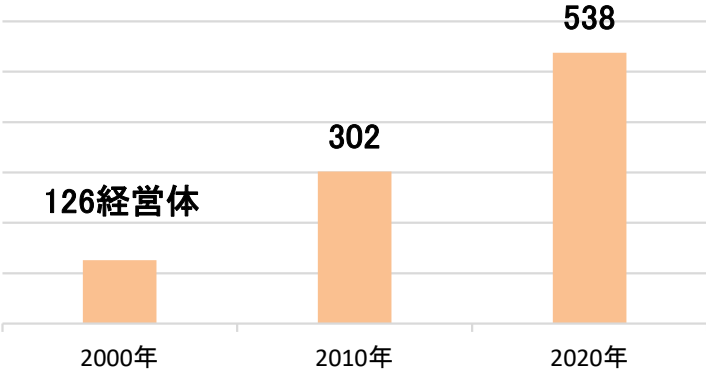
8. 農業経営体数の推移・経営形態別のシェア

- ・個人経営体は総じて減少し、特に副業的経営体が大きく減少。他方で、法人をはじめとした団体経営体数は着実に増加。しかしながら、2020年の個人経営体数は2.8万、法人経営体数は538であり、経営体数は圧倒的に個人経営が多い。
- ・多くの品目で主業経営体及び法人その他組織経営体が農業生産の相当部分を担う構造を実現しているが、特にいも類や稲、豆類については担い手シェアは5割未満に留まっている。

個人経営体数の推移

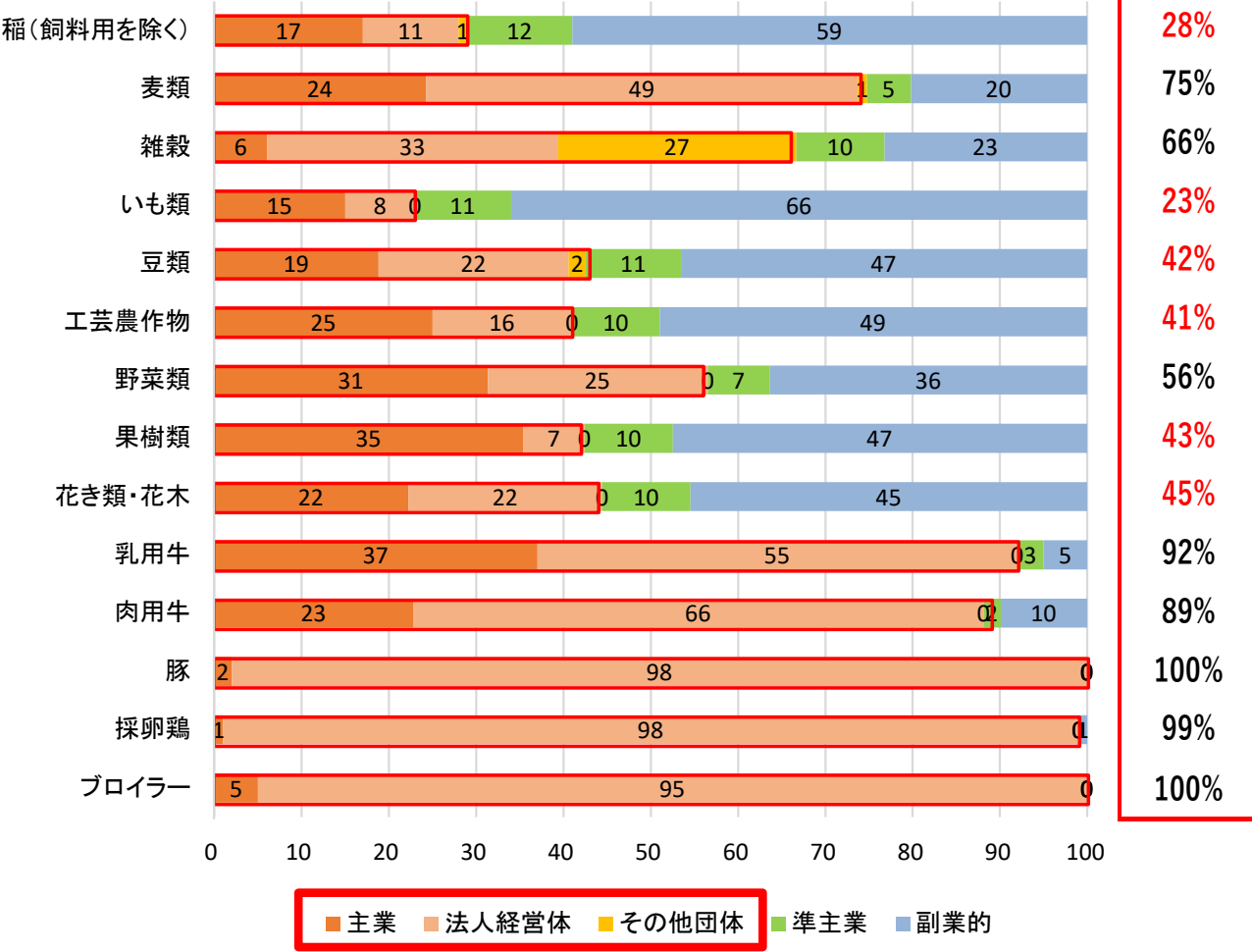


法人経営体数の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」
注1: グラフにおいて、2000年及び2010年の主副業別経営体数は販売農家の数値
注2: 下グラフにおいて、2000年は農家以外の農業事業体(一戸一法人は含まない)

2020年の経営形態別シェア
(作付面積、飼養頭数ベース)

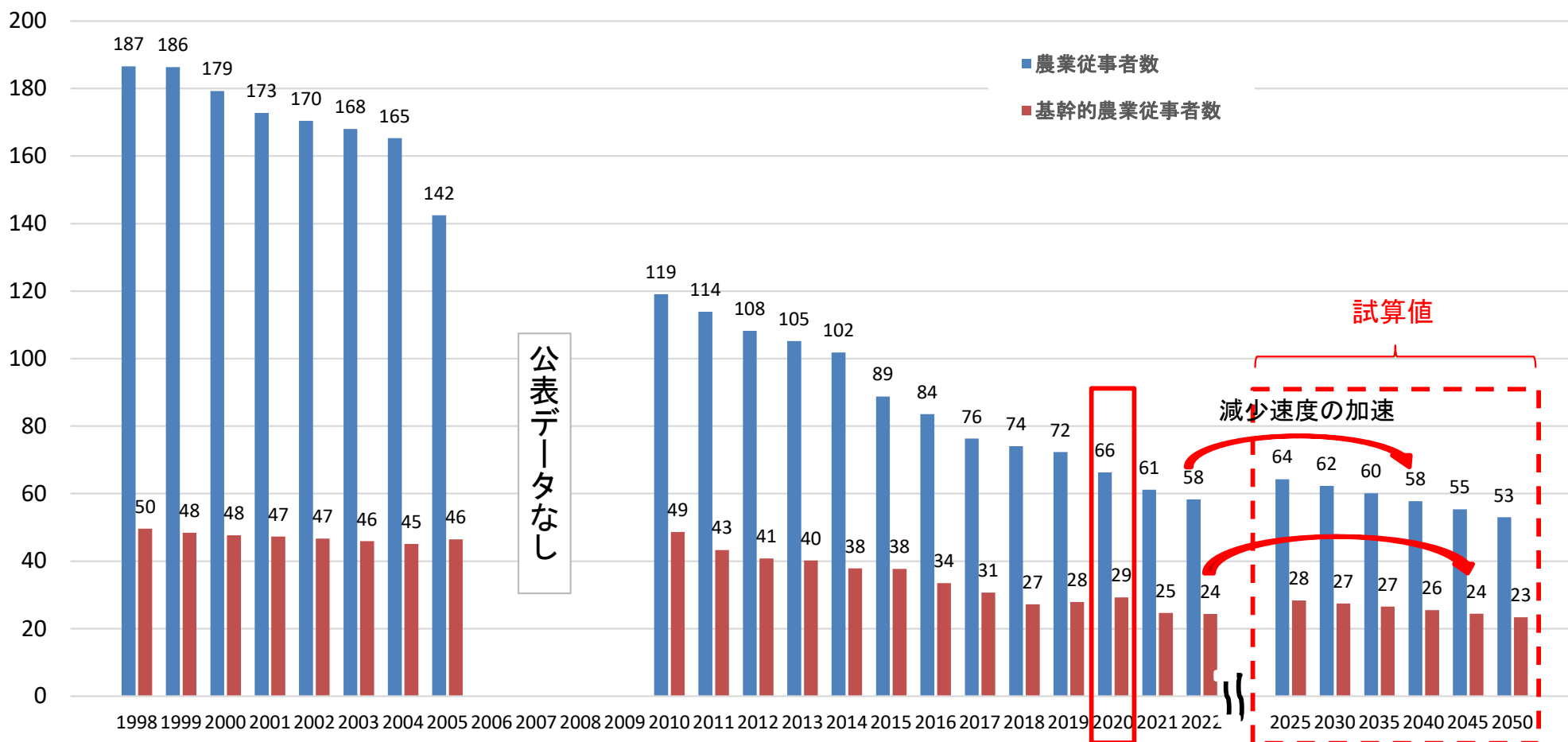


資料：農林水産省「農林業センサス」
注: 主副業別などシェアの数字については、四捨五入の関係でそれぞれの品目の和が100%にならない場合や、グラフ右欄の「主業+団体シェア」と一致しない場合がある。

9. 農業従事者数と基幹的農業従事者数の推移

- ・農村人口の高齢化により、岡山県の農業従事者数は減少傾向。
- ・2022年の農業構造動態調査結果（実績値）を、国立社会保障・人口問題研究所から2023年（令和5年）に発表された2020年（令和2年）国勢調査結果に基づく都道府県別の人口予測指数を2020年農林業センサス結果（県値＝赤の実線で囲んだ部分）に適用して2025年値～2050年値を試算した結果（破線で囲んだ部分）と比較すると、農業従事者数は2040年予測値に、基幹的農業従事者数は2045年予測値に到達していることから、その減少速度は、総人口のそれを大幅に上回っていることが分かる。（20年程度先行）

（千人）



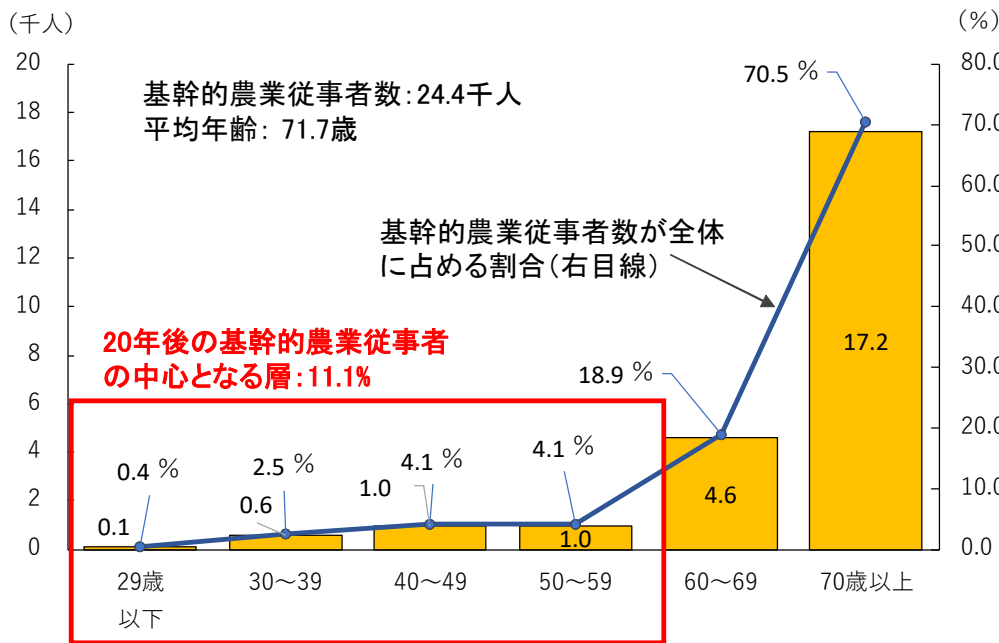
農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、調査期日前1年間に自営農業に従事した者
 基幹的農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者
 ※2019年（平成31年）までは販売農家、2020年（令和2年）からは個人経営体の数値。

資料：農林水産省「農林業センサス、農業構造動態調査」（2022年値は確報）
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

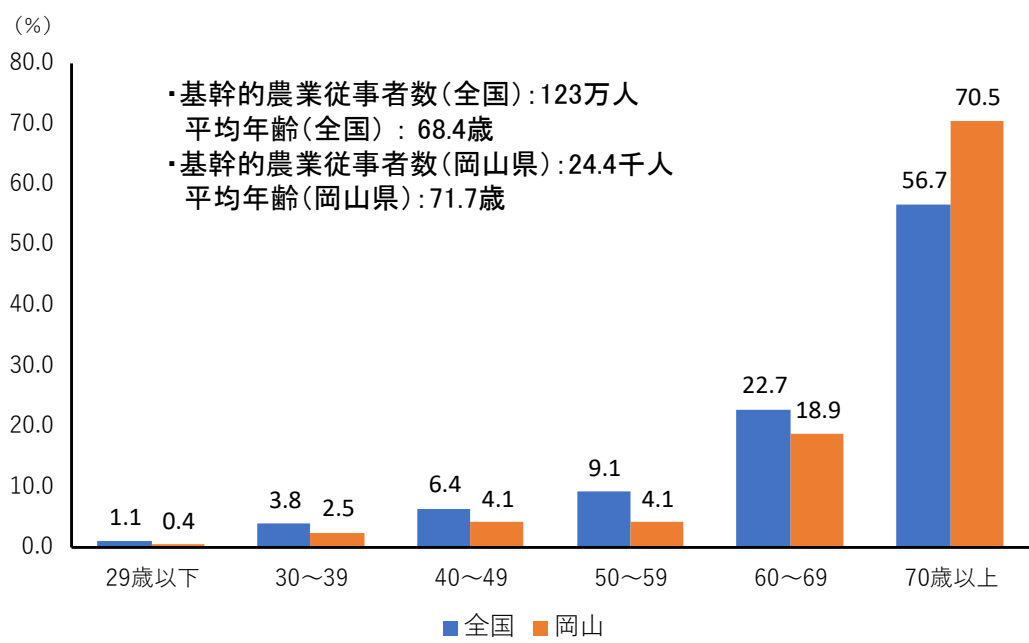
10. 基幹的農業従事者の年齢構成

- ・全国の2022年（令和4年）における基幹的農業従事者数は123万人、平均年齢は68.4歳で、年齢構成は70歳以上の層がピークとなっている。
- ・岡山県の2022年（令和4年）における基幹的農業従事者数は24.4千人、平均年齢は71.7歳で、年齢構成は70歳以上の層がピークとなっている。
- ・今後10～20年先を見据えると、基幹的農業従事者数は大幅に減少することが確実であり、生産基盤の脆弱化が危惧されるところ。

基幹的農業従事者の年齢構成
～岡山県、2022年（令和4年）～



基幹的農業従事者の年齢構成
～全国と岡山県の比較2022年（令和4年）～

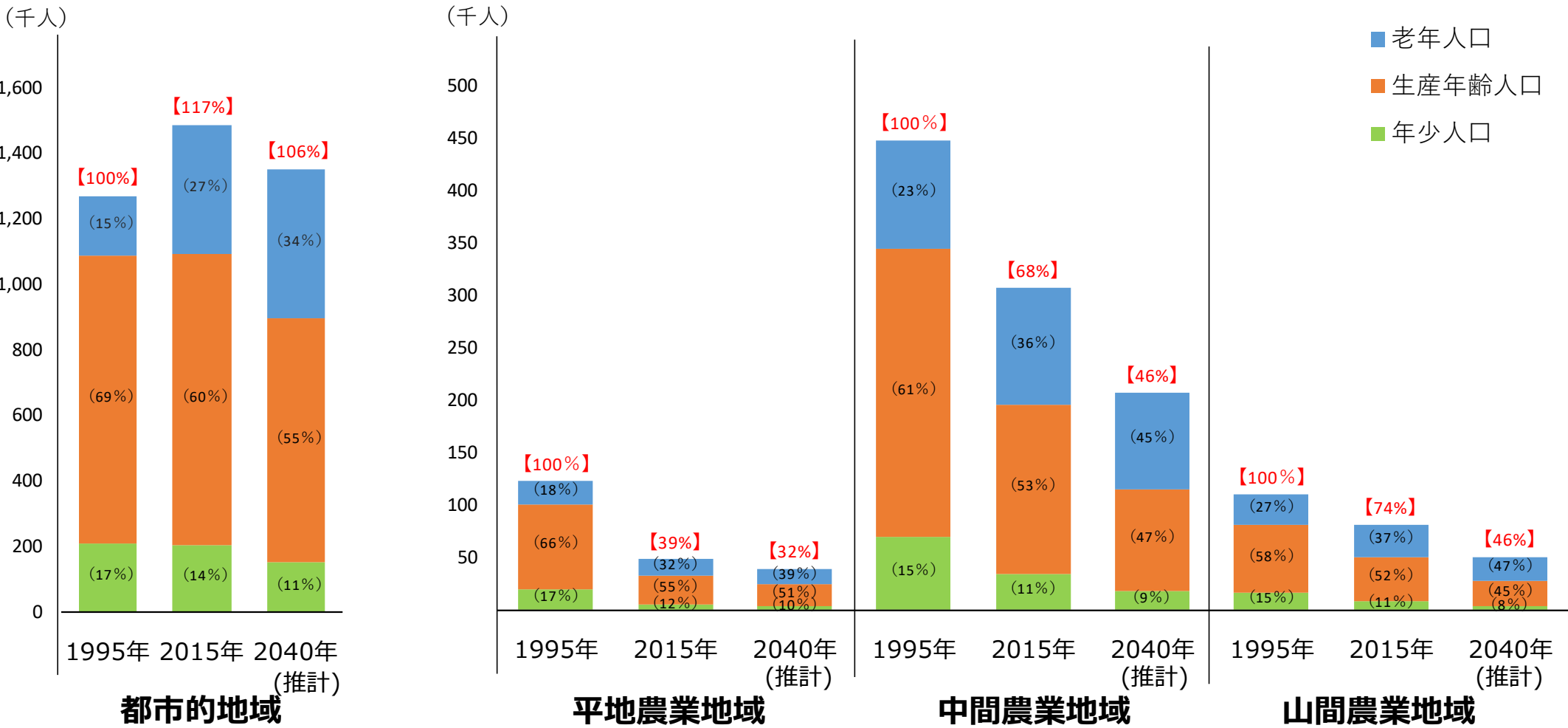


資料：農林水産省「農業構造動態調査」（令和4年）
注：基幹的農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

11. 農村における人口減少と高齢化

- ・ 地域類型別に岡山県の人口構成の推移を見ると、2015年においては、1995年比で都市的地域が増加(+17%)したのに対し、平地(▲61%)、中間(▲32%)、山間(▲26%)の順で減少した。また、2015年の高齢化率は高い順に、山間(37%)、中間(36%)、平地(32%)、都市的(27%)となっている。
- ・ 2040年には、さらに人口減少及び高齢化が進み、人口減少率は、1995年比で高い順に、平地(▲68%)、山間及び中間(▲54%)と予測されている。都市的地域でも、市町村合併に伴い増加していた人口が+6%まで減少すると見込まれている。

地域類型別の人口構成の推移



資料：総務省「国勢調査」結果及び国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口（令和5年推計）」をもとに、中国四国農政局にて作成。農業地域類型区分は、2015年農林業センサスに基づく平成29年改定版による。

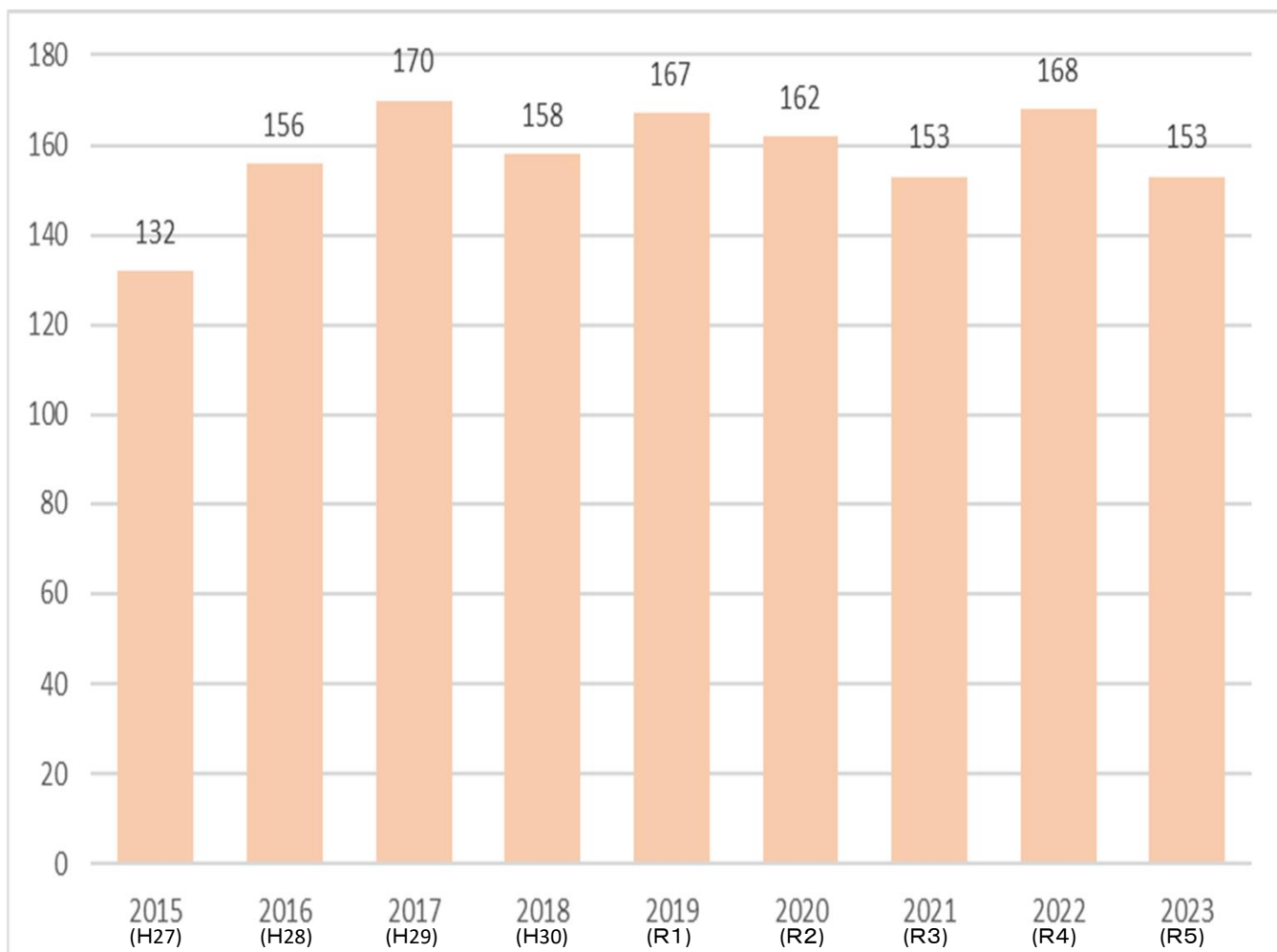
注1：【 】は1995年を基準値100%とした、2015年と2040年の相対値
注2：（ ）は各年の合計人口数における割合

12. 新規就農者の動向

・岡山県の新規就農者は徐々に増加していたが、近年は150人ほどで推移している。

新規就農者数の動向

(人)



資料:岡山県農産課調べ

岡山県拠点の取組

オンライン開催! 令和6年度新規就農者との意見交換会
岡山県内の新規就農を語る
～定着のために必要なコト～
令和7年 2月27日(木) 13:30～15:30

岡山県内の新規就農者3名から、
新規就農時から現在までの取組に係る
課題などについて、お話しいただきます!

1. 新規就農等への支援
農政局からの説明 (中国四国農政局 経営・事業支援部 経営支援課)
岡山県からの取組説明 (岡山県 農林水産部 農産課)

2. 新規就農者からの発表

 もも生産者 総社もも生産組合 ほんざわ やすお 本澤 康雄氏	 ぶどう生産者 JA岡山加茂川ぶどう部会 しみず ひろあき 清水 仁章氏
 もも・ぶどう生産者 千果園 くにやす ちひろ 國安 千尋氏	

3. 意見交換 (ディスカッション)
● 新規就農時の取組 ● 定着までの取組 等

★ 参加登録はこちら
令和7年2月20日(木) 16:00まで
どなたでも
お気軽にご参加を! (参加無料)
* 参加登録の際、事前に賛同を受け付けます。
意見交換当日に可能な範囲でお答えします。
URL: https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/501_250129_1.html

<担当者>
中国四国農政局岡山県拠点
福田、岩野、丸岡、渡部
TEL: 086-899-8610

主催: 中国四国農政局岡山県拠点

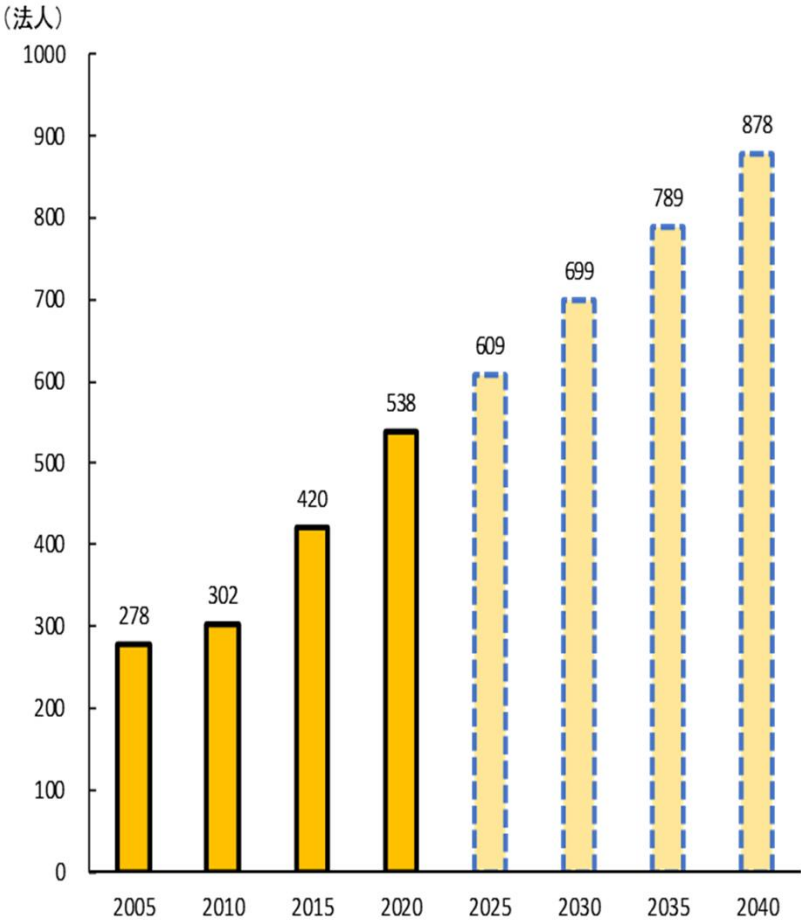
当日の動画は、こちら
からご覧いただけます



13. 法人経営体の推移

- 法人経営体数は、ここ15年で大きく増加し、2020年で538法人。
- 販売金額 1 億円以上の法人経営体数は、2005年と2020年を比べると、約 1.4 倍に増加。
- 法人その他団体経営体のシェアは、農産物販売金額、経営耕地面積及び経営体数の全てにおいて増加し、直近データ（2020年）では経営耕地面積に占める割合は15%となっている。

法人経営体数の推移(岡山県)



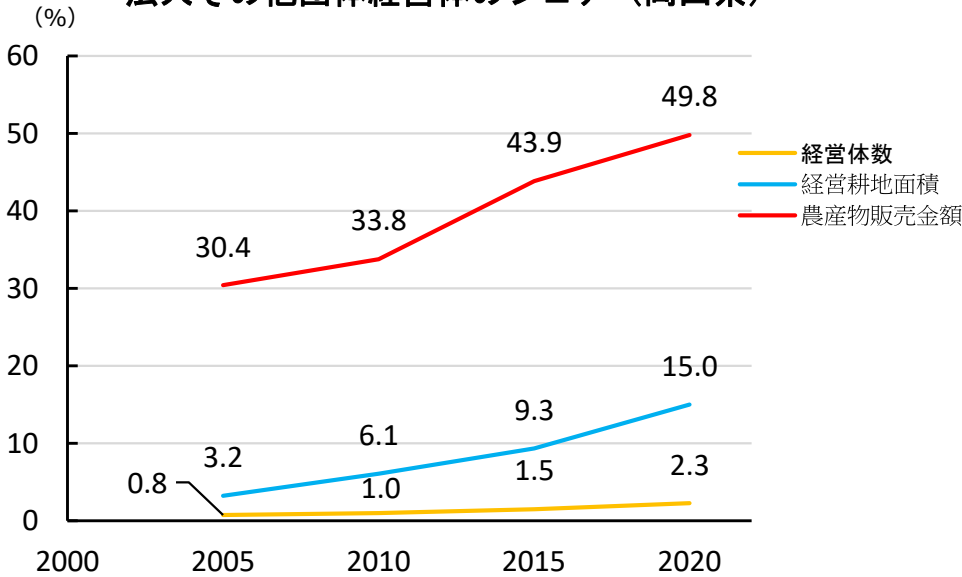
資料：農林水産省「農林業センサス」
注：法人経営体とは、農業経営体のうち、法人化して事業を行う者をいう。
2025年以降は、2005年～2020年の傾向がそのまま続くとした場合の予測値による。

販売金額別法人経営体数の推移（岡山県）（単位：法人）

	2005年	2010年	2015年	2020年
計	278	302	420	538
1 億円以上	56	54	63	81
3 億円以上	23	25	29	38
5 億円以上	15	14	20	30

資料：農林水産省「農林業センサス」

法人その他団体経営体のシェア（岡山県）

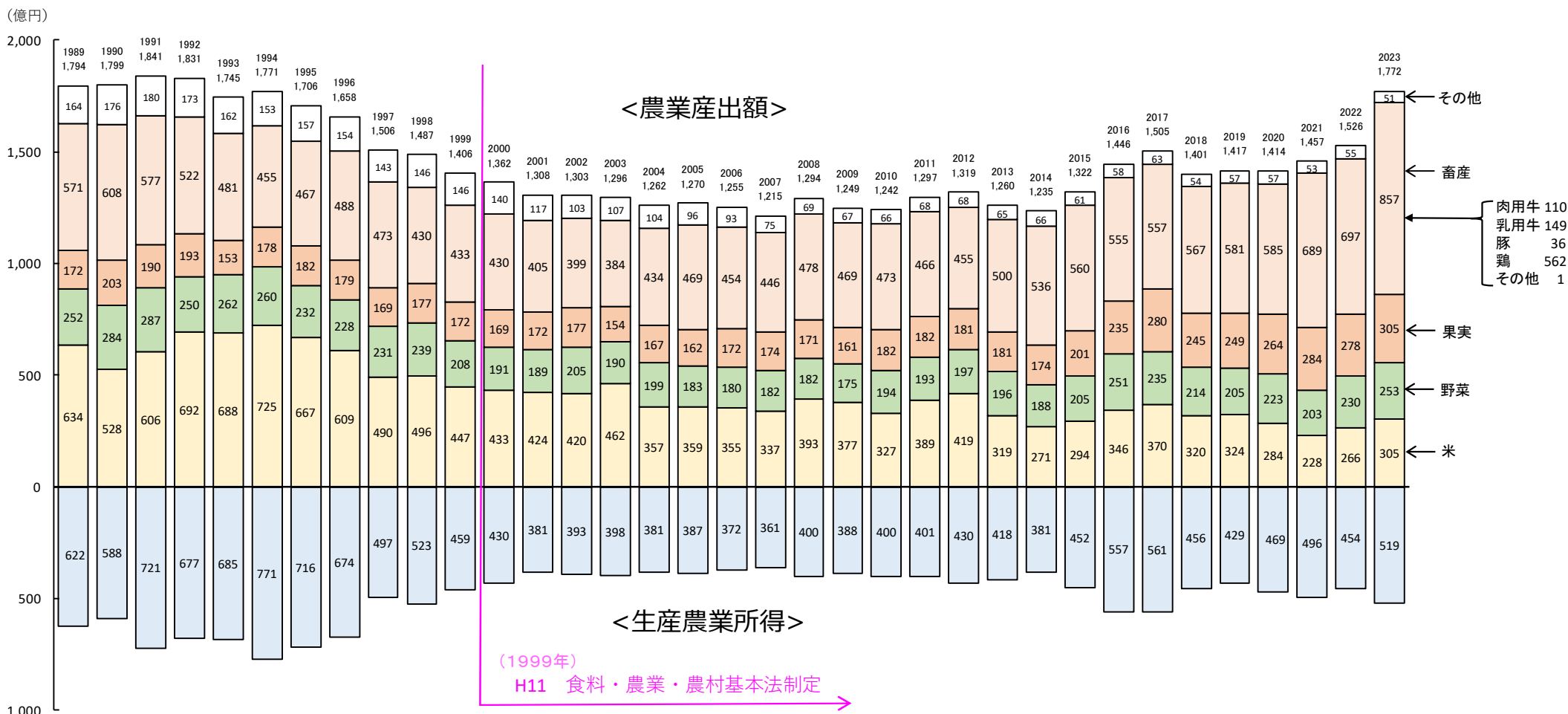


資料：農林水産省「農林業センサス」
注：農産物販売金額は、農産物販売金額規模別経営体数に、それぞれの階層ごとに階層の中間値（50万円～100万円であれば75万円）を乗じて求めた推計結果を基にシェアを算出した。

14. 農業産出額及び生産農業所得

- ・ 農業産出額は、1999年（H11）以降、米やその他が減少したものの畜産、果実及び野菜が増加したことにより増加している。
- ・ 生産農業所得は、近年、農業産出額の増加等を主たる要因として回復傾向で推移。

農業産出額及び生産農業所得の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

注1：その他は、麦類、雑穀、豆類、いも類、花き、工芸農作物、その他作物、及び加工農産物の合計である。

注2：乳用牛には生乳、鶏には鶏卵及びブロイラーを含む。

注3：四捨五入の関係で内訳と計が一致しない場合がある。

参考：農業産出額＝Σ(品目別生産量×品目別農家庭先販売価格)

注1：他都道府県に販売し中間生産物(最終生産物となる農産物の生産のために再び投入される農産物をいい、種子や子豚等が該当する。)を自都道府県の農業産出額に計上する。

注2：牛馬成長過程(子牛、育成牛等)の流通段階ごとの育成差益を農業産出額に計上する。

注3：生産農業所得＝Σ[部門別農業産出額×{農業粗収益(経常補助金を除く。)-物的経費}÷農業粗収益(経常補助金を除く。)]+経常補助金

15. 市町村別農業産出額

- ・ 県内の市町村で農業産出額が最も多いのは岡山市、次いで新見市、倉敷市が続き、この3市で県内の産出額の3割を超えている。
- ・ 岡山市の農業産出額は、中国四国管内では三豊市（301.5億円、全国29位）、庄原市（281.6億円、全国45位）に次いで3位の全国54位。

＜市町村別農業産出額（令和5年）＞ 単位：市町 1,000万円、県 億円

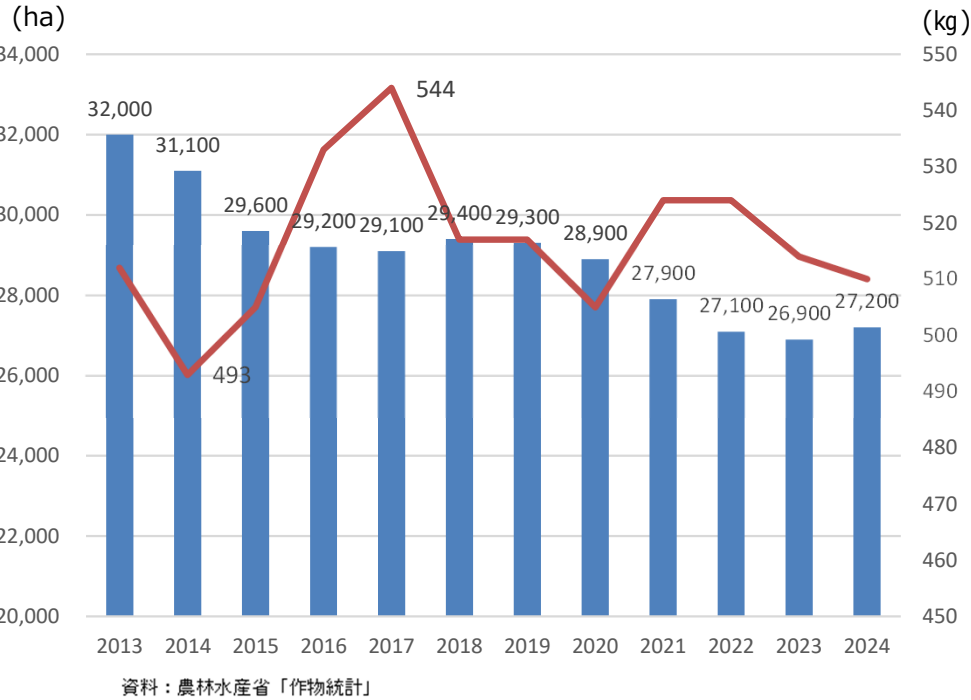
市町村	順位	農業 産出額 ①+②+ ③	耕 種													畜 産										加工 農産物
			小 計①	米	麦 類	雑 穀	豆 類	いも類	野 菜	果 実	花 き	工芸 農作物	茶	その他作 物	小 計②	肉用牛	乳用牛	生乳	豚	鶏	その他畜 産物			③		
																					鶏 卵	ブロイ ラー				
岡 山 市	1	2,537	2,119	888	67	0	4	6	551	562	31	0	0	11	418	90	100	96	-	218	218	-	10	0		
倉 敷 市	3	1,529	911	251	1	0	0	4	266	369	x	0	-	x	618	1	29	28	x	587	587	-	x	-		
津 山 市	9	598	447	250	4	0	6	7	93	77	6	0	0	4	151	53	83	80	x	14	14	0	x	0		
玉 野 市	22	157	157	44	4	-	1	1	35	19	53	0	-	1	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-		
笠 岡 市	8	1,118	192	44	0	0	1	1	108	24	14	0	0	1	926	82	455	445	-	389	389	-	-	0		
井 原 市	5	1,366	315	79	-	0	0	5	49	175	x	0	0	x	1,050	15	16	15	x	966	965	-	x	0		
総 社 市	16	322	316	135	2	0	2	2	75	93	x	0	-	x	6	1	0	0	x	0	0	-	x	-		
高 梁 市	7	1,219	507	84	0	0	1	2	101	308	4	1	0	5	712	46	65	56	x	515	514	-	x	0		
新 見 市	2	1,947	533	112	0	0	1	2	86	318	x	0	0	x	1,413	123	6	5	x	1,154	73	x	x	0		
備 前 市	18	286	117	32	0	0	0	1	41	41	x	0	-	x	169	-	4	x	-	165	164	x	0	-		
瀬 戸 内 市	12	429	368	126	6	-	1	4	173	54	2	0	-	2	61	11	49	47	-	-	-	-	0	-		
赤 磐 市	10	537	478	137	1	0	1	2	71	255	x	0	-	x	59	6	-	-	-	54	54	-	-	-		
真 庭 市	5	1,366	701	172	0	1	4	5	323	159	27	2	1	8	664	78	276	266	x	302	301	x	x	1		
美 作 市	13	390	345	126	0	0	5	3	135	46	20	2	2	9	44	5	32	32	-	7	7	-	0	1		
浅 口 市	23	104	90	32	0	0	0	0	11	32	14	0	-	0	14	-	9	9	-	5	x	-	-	-		
和 気 町	15	326	110	46	0	0	0	0	38	22	3	0	-	1	216	214	-	-	-	2	x	-	-	-		
早 島 町	24	22	22	13	-	-	0	0	4	4	0	-	-	-	0	-	-	-	-	0	0	-	-	-		
里 庄 町	26	20	12	4	-	-	0	0	5	3	0	0	-	0	8	0	8	x	-	-	-	-	-	-		
矢 掛 町	19	267	128	61	0	0	1	1	31	30	x	0	-	x	140	1	91	x	-	47	x	-	1	-		
新 庄 村	25	21	16	9	-	0	0	-	5	1	1	0	-	0	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-		
鏡 野 町	20	233	211	90	0	0	1	1	54	51	12	0	-	2	22	14	8	x	-	-	-	-	0	-		
勝 央 町	17	309	186	47	0	0	3	2	73	56	x	0	0	x	123	26	97	94	-	0	0	-	0	0		
奈 義 町	14	351	77	38	0	0	1	3	26	5	4	0	-	1	275	143	80	78	-	50	x	-	1	-		
西 粟 倉 村	27	16	12	7	-	-	0	0	4	1	x	0	-	x	4	-	4	x	-	-	-	-	-	-		
久 米 南 町	21	182	172	33	0	0	1	3	60	74	0	0	0	2	10	1	10	x	-	-	-	-	-	0		
美 咲 町	4	1,423	252	75	0	0	1	3	40	128	x	0	-	x	1,171	137	15	15	x	942	x	-	x	-		
吉備中央町	11	445	349	112	0	0	3	1	78	142	10	0	-	2	96	46	49	47	-	0	0	-	1	-		
岡 山 県	20	1,772	914	305	8	0	4	6	253	305	25	1	0	7	857	110	149	144	36	562	433	108	1	0		

出典：令和5年 市町村別農業産出額（推計）、令和5年 農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）
「0」：単位に満たないもの、「-」：事実のないもの、「x」：個人等に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

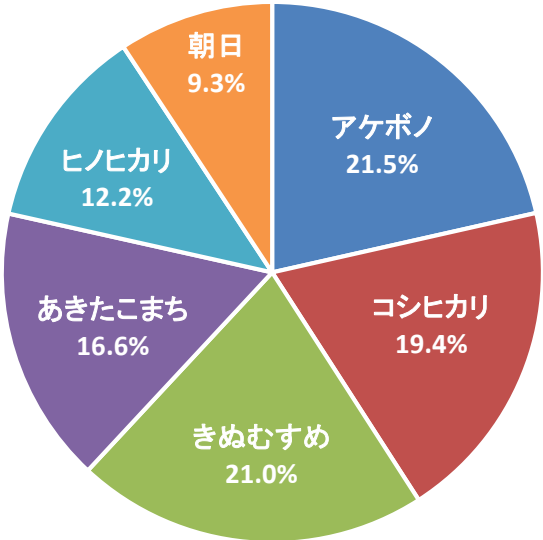
16. 水稻の作付状況

- ・岡山県における主食用米の作付面積は近年減少傾向になっている。
- ・岡山県農業再生協議会は、県産米の生産状況、需要動向や販売戦略を踏まえ、水稻生産、水田の有効活用による水田農業の振興に向けた方針を策定。
- ・令和6年産米の食味ランキングにおいて、「きぬむすめ」が9年連続で、最高ランクの「特A」を取得。

主食用米の作付面積の推移



主食用米の主な品種割合
(令和6年産)



<令和6年産の水田における作付状況(R6.9.15時点)>

単位：ha

加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	備蓄米
	新市場開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS (稲発酵粗飼料用稲)	その他						
281	196	81	1,143	533	-	1,168	1,003	835	105	0	34

資料：農林水産省 加工用米及び新規需要米は農林水産省「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」に基づく取組計画の認定面積。
麦、大豆、飼料作物は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

- **アケボノ**
コシヒカリを母にもつ、食味・光沢ともに優れた全国ブランドのお米です。岡山県は西日本有数の産地。
- **コシヒカリ**
全国で最もたくさん作られている極良食味品種。お米の粒がきれいで光沢があり、柔らかさと強い粘りがある。
- **きぬむすめ**
炊き上がりが白くてつやがある美しいお米で、粘りが強く、甘みや粘りがあり、そのおいしさはコシヒカリにも遜色ありません。栽培しやすい外観品質も優れている。

17. 水田における主食用米以外の作物の作付面積の推移

- ・水田における主食用米以外の作物への作付転換は、これまで主に主食用米以外の米によって進展しており、大豆等への転換は進んでいない。
 - ・主食用米以外への米（飼料用米など）については、主食用米の価格動向によっては主食用米の作付に回帰しやすい性格を有している。
- このため、いずれの品目も主食用米の価格動向に左右されずに、当該品目の作付を定着・拡大させていく産地づくりや流通・販売等の体制づくりが重要。

水田における主食用米以外の米、麦、大豆等の作付面積の推移

（基幹作として主食用米以外の米や麦、大豆等を作付けしている面積）

（単位：ha）

品目 年産	（参考） 主食用米	加工用米	新規需要米	うち				麦	大豆	飼料作物
				うち飼料用米	うちWCS稲 （稲発酵粗飼料）	うち米粉用米	うち新市場開拓用米 （輸出米等）			
2018	29,400	434	1,691	1,254	367	65	5	1,119	1,164	882
2019	29,300	368	1,493	1,076	327	85	3	1,114	1,103	867
2020	28,900	377	1,605	1,074	334	88	109	1,197	1,071	869
2021	27,900	316	2,326	1,730	346	124	126	1,260	1,102	877
2022	27,100	308	2,706	2,002	415	131	158	1,189	1,163	902
2023	26,900	295	2,608	1,824	475	120	189	1,269	1,116	911
2024	27,200	281	1,954	1,143	533	81	196	1,168	1,003	835

推進における課題（例）

飼料用米（多収品種）

- 抜本的な多収・省力技術の確立・普及（生産コスト低減）
- バラ出荷や輸送経路の効率化等、流通コスト低減

米粉用米

- 生産・加工コストの低減
- 海外グルテンフリー市場に向けた輸出拡大

新市場開拓用米

- 輸出先国のニーズに応じた品質・数量等への対応（産地の育成）

麦・大豆

- 団地化、ブロックローテーション、排水対策等による生産性向上
- 産地等における保管機能向上による安定供給（実需の求める量・品質・価格への対応）

いずれの品目も、主食用米の価格動向に左右されずに、作付を定着及び拡大させていく産地・体制構築が必要

資料：主食用米は農林水産省「作物統計」。

加工用米及び新規需要米は農林水産省「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」に基づく取組計画の認定面積。

麦、大豆、飼料作物は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。

18. 岡山県野菜農業振興計画

- ・岡山県における令和6年度から令和10年度までの5年間の計画
- ・重点品目「なす、トマト、アスパラガス、いちご、キャベツ、たまねぎ」の6品目。
- ・基幹品目「きゅうり、はくさい、レタス、ねぎ、だいこん」の5品目。

【重点品目】

なす、トマト、アスパラガス、いちご、キャベツ、たまねぎは、県内及び県外（京阪神市場等）で高く評価され、県域で生産振興を強化している基幹的な品目のうち、なす、トマト、アスパラガス、いちご、キャベツ、たまねぎの6品目を重点品目とする。

特にいちごは、令和元年産から重点的に推進している「晴莓」について、もも、ぶどうの販売ルートを生かし、首都圏等でのブランド確立を目指す。

キャベツ、たまねぎについては、加工・業務用野菜としての期待が高まっていることから、収益性の高い土地利用型野菜として重点的に産地化を図る。

【基幹品目】

きゅうり、はくさい、レタス、ねぎ、だいこんは、本県野菜産地の基幹的な5品目を選定し、地域の特性を生かした産地の維持・拡大を図る。

【振興方針】

基本方針1 生産基盤とブランド・販売力の強化

- 生産基盤の強化
- ブランド力の強化
- 産地間連携による販売力向上

基本方針2 水田を活用した新たな産地の育成

- 高収益作物の作付推進
- 加工・業務用野菜の生産拡大

基本方針3 スマート農業による省力化及び高品質安定生産の推進

- 機械化等による省力化の推進
- 高品質安定生産の推進

基本方針4 産地を支える多様な担い手の確保・育成

- 新規就農者等の確保・育成
- 集落営農や企業等の取組支援
- 多様な労働力の活用



資料:岡山県野菜農業振興計画

【生産目標】

区分	品目	2022(R4) 現状		2028 (R10) 目標			
		栽培 面積 (ha)	生産量 (t)	栽培 面積 (ha)	生産量 (t)	対比(R10/R4)	
						栽培 面積 (%)	生産量 (%)
重点 品目	なす	125	4,950	125	5,000	100	101
	冬春	20	1,960	20	1,990	100	102
		105	2,990	105	3,010	100	101
	トマト	108	5,760	110	5,900	102	102
	アスパラガス	60	312	65	350	108	112
	いちご※	23	904	26	1,125	114	124
	キャベツ	334	12,700	340	13,600	102	107
	加工・業務用※※	141	4,767	155	6,200	110	130
		148	4,510	150	6,000	101	133
	加工・業務用※※	43	1,038	55	2,200	128	212
基幹 品目	きゅうり	76	2,780	77	3,040	101	109
	はくさい	251	13,000	251	13,370	100	103
	レタス	93	2,220	95	2,260	102	102
	ねぎ	155	2,250	160	2,315	103	103
	だいこん	223	7,990	223	8,050	100	101

資料:農林水産省統計情報部調べ
※いちごの栽培面積は農産課調べ
※※キャベツ、たまねぎの加工・業務用は、全農岡山県本部農産・園芸部調べ
(当該年度出荷分)

19. 野菜2022年産・果樹2023年産の収穫量



全国
294.6千t
岡山県のシェア
1.7%

なす

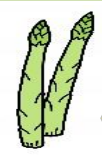
	県名	収穫量(t)
1位	高知	40,600
2位	熊本	33,400
3位	群馬	28,500
4位	茨城	17,900
5位	福岡	17,500
6位	愛知	13,900
7位	栃木	11,500
8位	埼玉	8,510
9位	京都	7,050
10位	千葉	6,590
:		
17位	岡山	4,950



全国
707.9千t
岡山県のシェア
0.8%

トマト

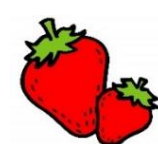
	県名	収穫量(t)
1位	熊本	130,300
2位	北海道	62,900
3位	愛知	47,700
4位	茨城	46,300
5位	栃木	32,000
6位	千葉	31,700
7位	岐阜	27,200
8位	福島	22,000
9位	群馬	21,600
10位	福岡	18,900
:		
30位	岡山	5,760



全国
26千t
岡山県のシェア
1.2%

アスパラガス

	県名	収穫量(t)
1位	北海道	3,500
2位	熊本	2,320
3位	佐賀	2,270
4位	山形	1,950
5位	福岡	1,810
6位	栃木	1,670
7位	長崎	1,650
8位	長野	1,440
9位	福島	1,430
10位	秋田	1,250
:		
17位	岡山	312



全国
161.1千t
岡山県のシェア
0.6%

いちご

	県名	収穫量(t)
1位	栃木	24,400
2位	福岡	16,800
3位	熊本	11,700
4位	愛知	10,600
5位	静岡	10,400
6位	長崎	10,300
7位	茨城	9,300
8位	千葉	7,280
9位	佐賀	6,720
10位	宮城	4,870
:		
31位	岡山	904



全国
1,458千t
岡山県のシェア
0.9%

キャベツ

	県名	収穫量(t)
1位	群馬	284,500
2位	愛知	268,900
3位	千葉	109,600
4位	茨城	106,900
5位	鹿児島	74,500
6位	長野	68,600
7位	神奈川	67,700
8位	北海道	61,700
9位	熊本	44,800
10位	兵庫	25,800
:		
18位	岡山	12,700



全国
1,219千t
岡山県のシェア
0.4%

たまねぎ

	県名	収穫量(t)
1位	北海道	825,800
2位	兵庫	86,400
3位	佐賀	84,000
4位	長崎	28,800
5位	愛知	25,000
6位	熊本	12,500
7位	静岡	12,300
8位	栃木	10,300
9位	群馬	8,930
10位	香川	8,570
:		
19位	岡山	4,510



全国
167千t
岡山県のシェア
9.2%

ぶどう

	県名	収穫量(t)
1位	山梨	41,700
2位	長野	31,400
3位	岡山	15,300
4位	山形	13,800
5位	北海道	7,760
6位	福岡	6,850
7位	大阪	3,520
8位	愛知	3,210
9位	青森	3,190
10位	広島	3,040



全国
109.5千t
岡山県のシェア
5.1%

もも

	県名	収穫量(t)
1位	山梨	33,400
2位	福島	28,500
3位	長野	9,650
4位	山形	8,800
5位	和歌山	7,240
6位	岡山	5,610
7位	青森	1,770
8位	新潟	1,640
9位	香川	892
10位	岐阜	559

注1: 2022(令和4年産)の野菜については、全国調査として全ての都道府県を調査の対象としている。
全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており、全国調査年以外の年にあっては、主産県調査として調査対象品目ごとに、直近の全国調査年における作付面積の全国値のおおむね8割を占めるまでの上位都道府県又は野菜指定産地に指定された区域を含む都道府県及び畑作物共済事業を実施する都道府県を調査の範囲としている。

注2: 2023(令和5)の果樹については、主産県を対象として調査を実施している。
全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており(直近では2020(令和2)年産、全国調査年以外の年にあっては、主産県調査として調査対象品目ごとに、面積調査の直近の全国調査年2020(令和2)年の調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね8割を占めるまでの上位都道府県又は果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲としている。

20. もも収穫量及び栽培面積の推移

- ・ 県内の栽培面積は減少傾向である。
- ・ 主力品種についてはおかやま夢白桃が、清水白桃に続く 7 月下旬に成熟し、栽培が容易で高品質かつ安定生産が可能として、県の推奨品種となり切り替えが進んだ。

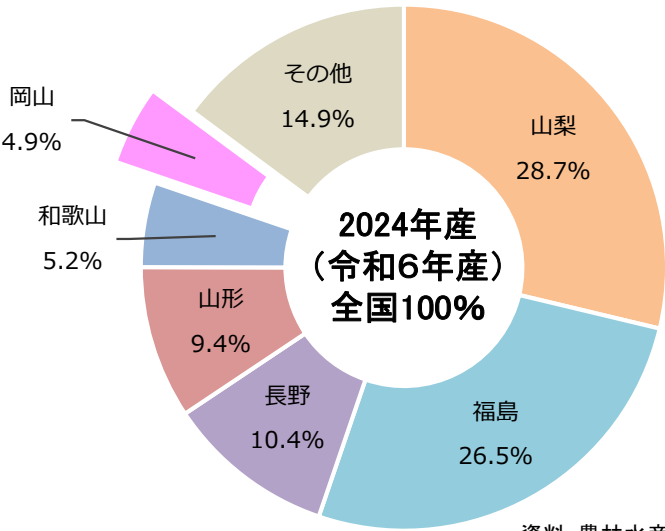
2024年産(令和6年産)

	全国	岡山県
結果樹面積	9,190ha	637ha
収穫量	109,700 t	5,360 t
出荷量	102,600 t	4,780 t

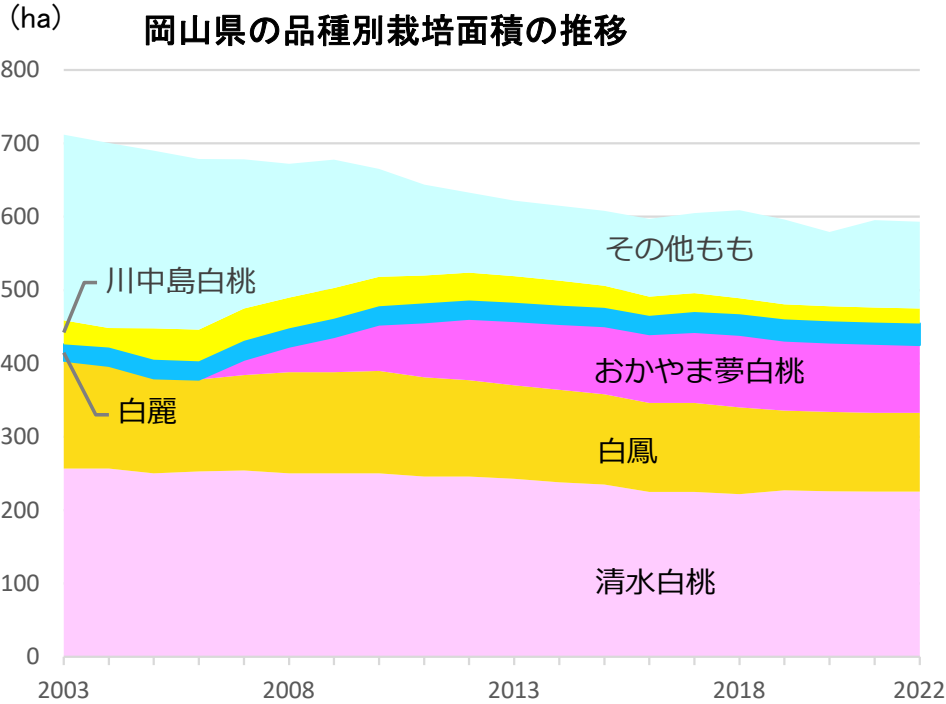
※岡山県の収穫量シェアは4.9%で、順位は6位となっている。

資料:農林水産省「果樹生産出荷統計」

令和6年産ももの収穫量における岡山県の割合

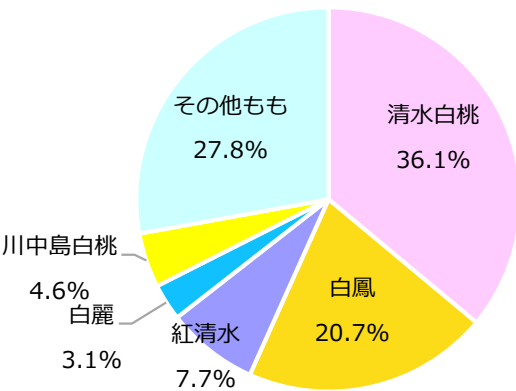


資料:農林水産省「果樹生産出荷統計」

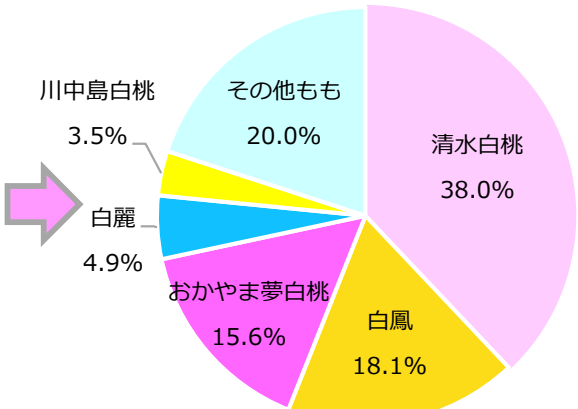


資料:農林水産省「特産果樹生産動態等調査」

2003年産(平成15年)



2022年産(令和4年)

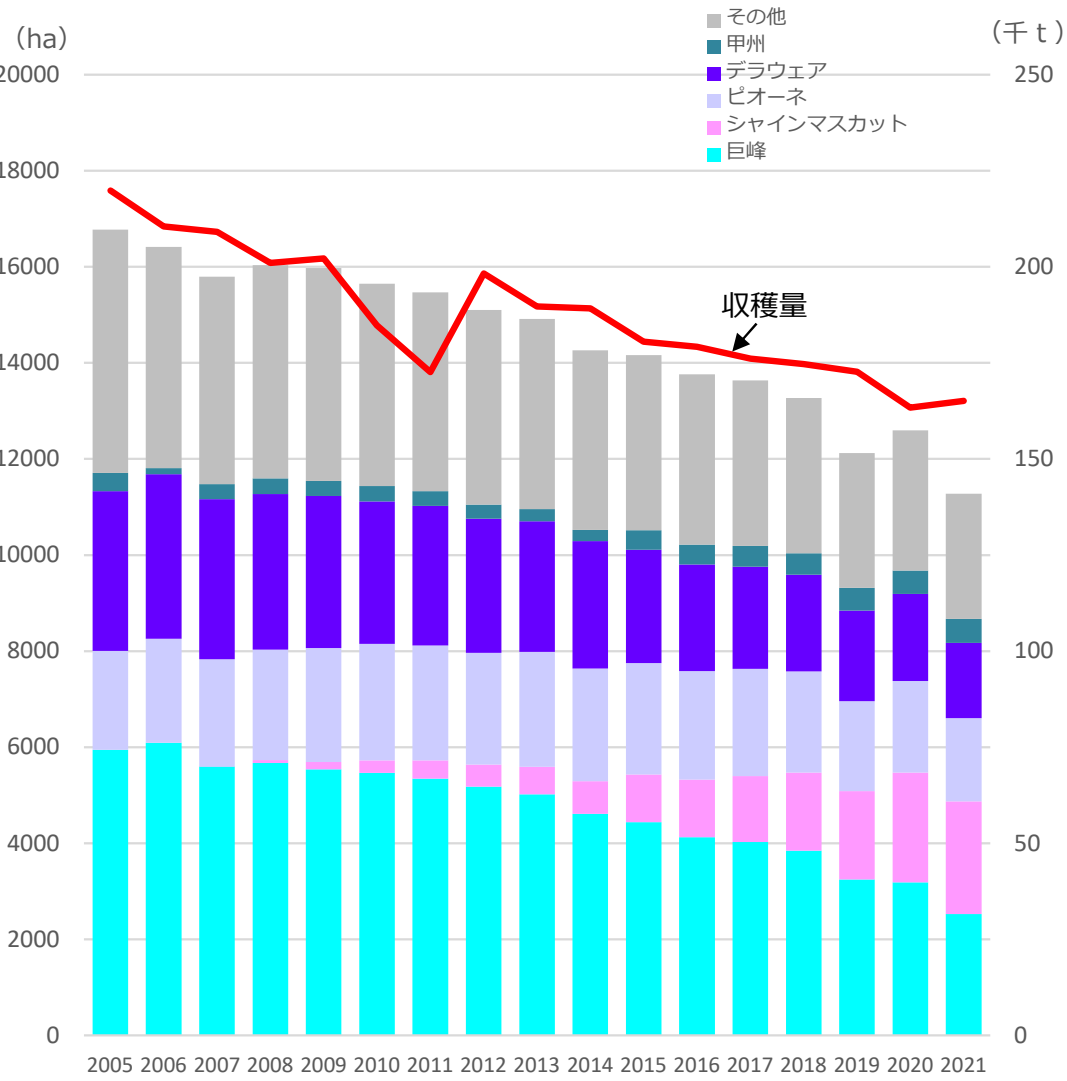


資料:農林水産省「特産果樹生産動態等調査」

21. ぶどう（生食用）収穫量及び品種別栽培面積の推移

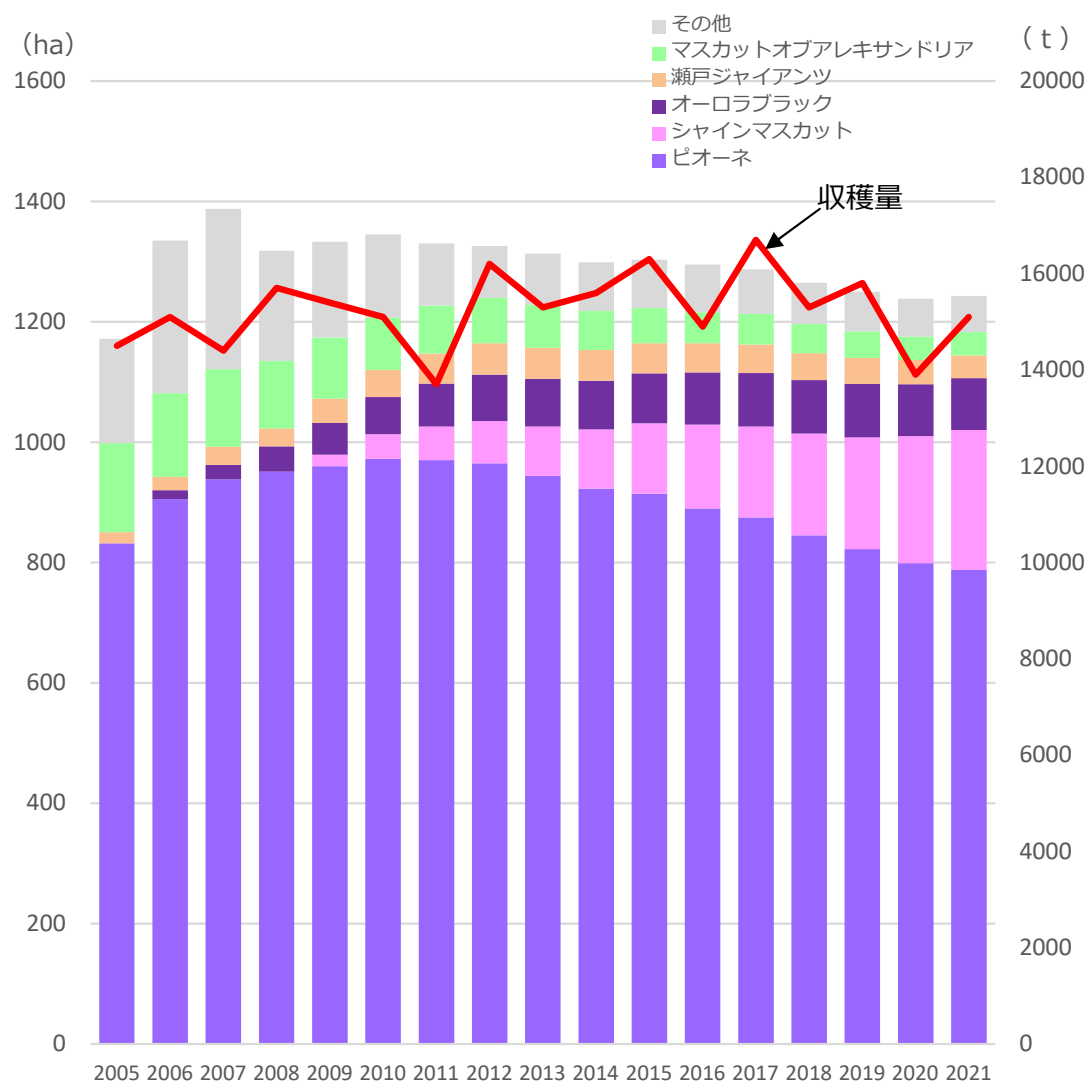
2006年に品種登録されたシャインマスカットが全国的に栽培面積は急速に増加している。

ぶどう（生食用）収穫量及び品種別栽培面積の推移（全国）



資料：農林水産省「特産果樹生産動態等調査」「作物統計調査」

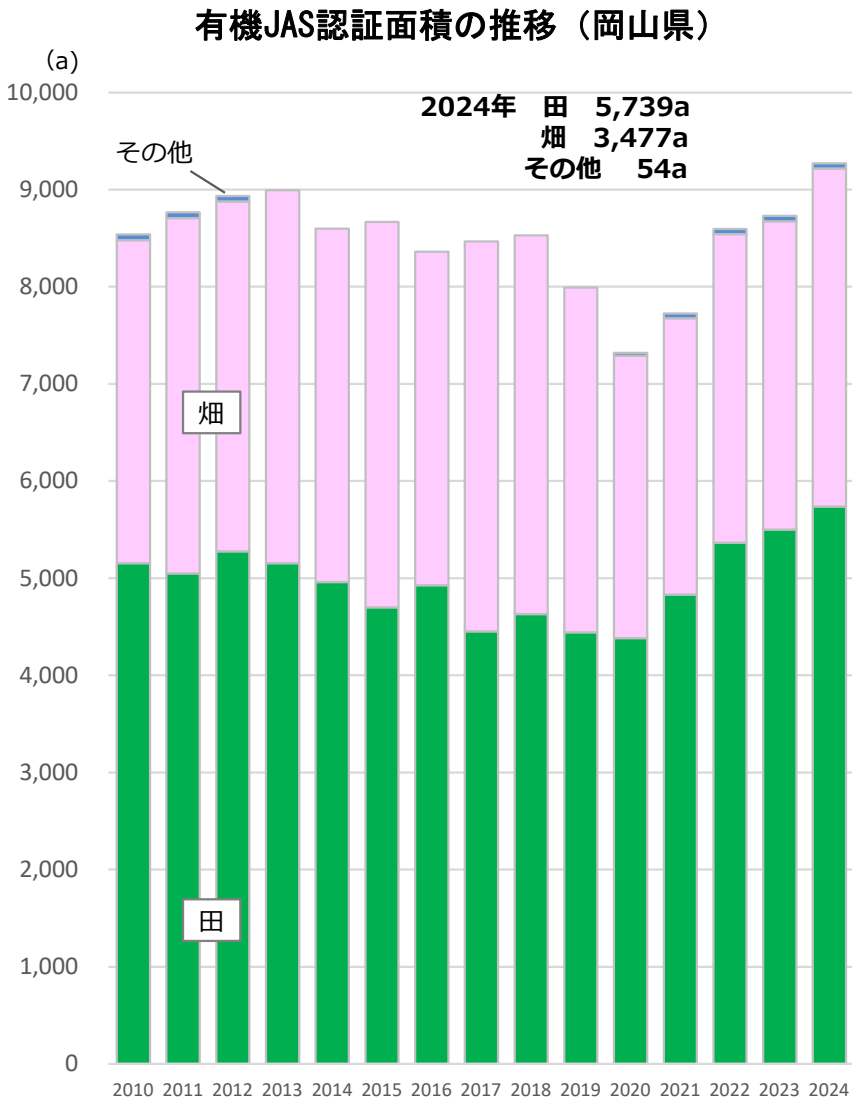
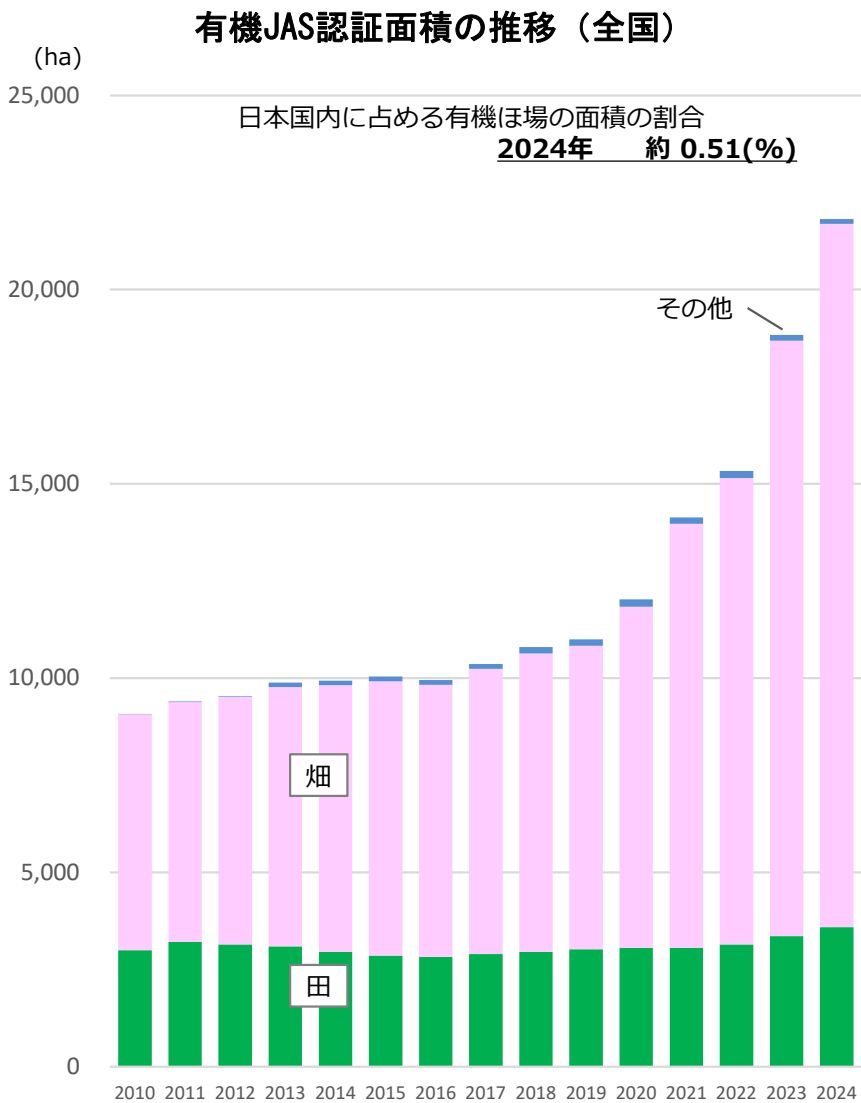
ぶどう（生食用）収穫量及び品種別栽培面積の推移（岡山県）



資料：農林水産省「特産果樹生産動態等調査」「作物統計調査」

22. 有機農業の取組面積の現状

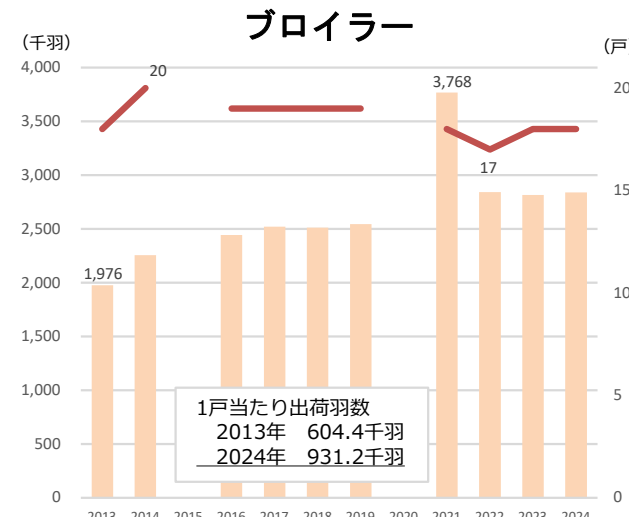
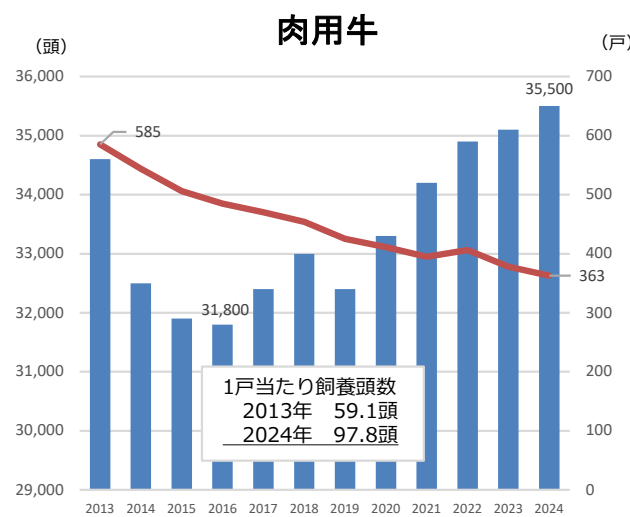
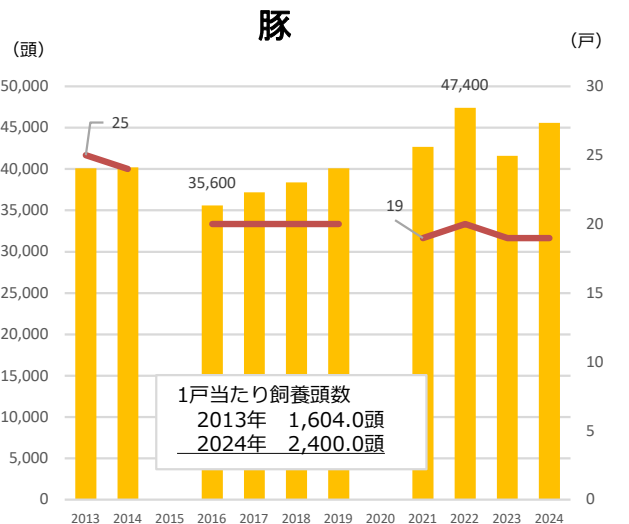
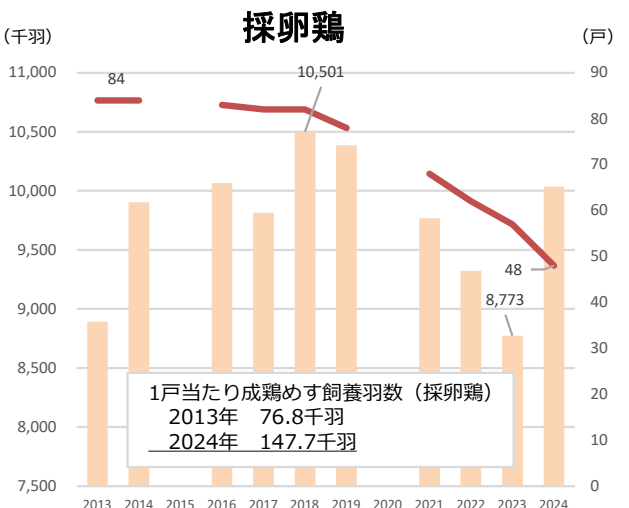
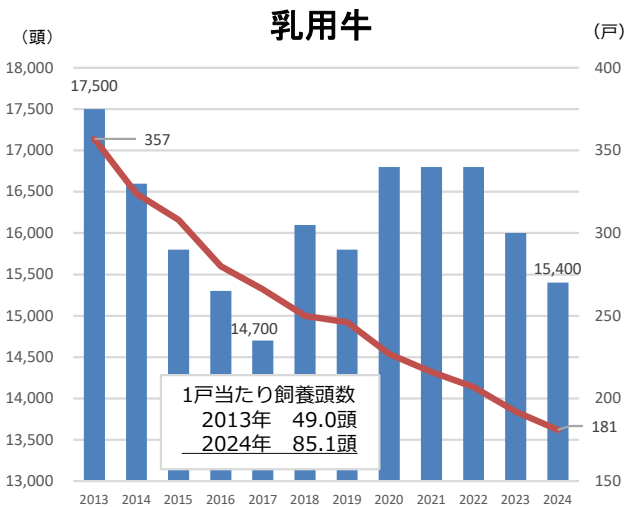
- 全国の有機JAS認証の取組面積は、2024年では21.8千ha（全耕地面積に占める割合は0.51%）であり、年々増加しているものの、全体としては極めて低いレベル。
- 岡山県では、2024年に92.7haと最高の取組面積となった。



資料：農林水産省「食品製造課調べ」
注：国内の耕地面積は、農林水産省「令和4年耕地面積」

23. 畜産物の飼養頭(羽)数及び飼養戸数の推移

- ・ 2013年と2024年を比較すると、飼養戸数はブロイラー以外で減少している。特に、乳用牛は367戸から181戸（△176戸）に減少、採卵鶏は84戸から48戸（△36戸）に減少している。
- ・ 1戸当たり飼養頭(羽)数は、各畜種で増加しており規模拡大が進んでいる。

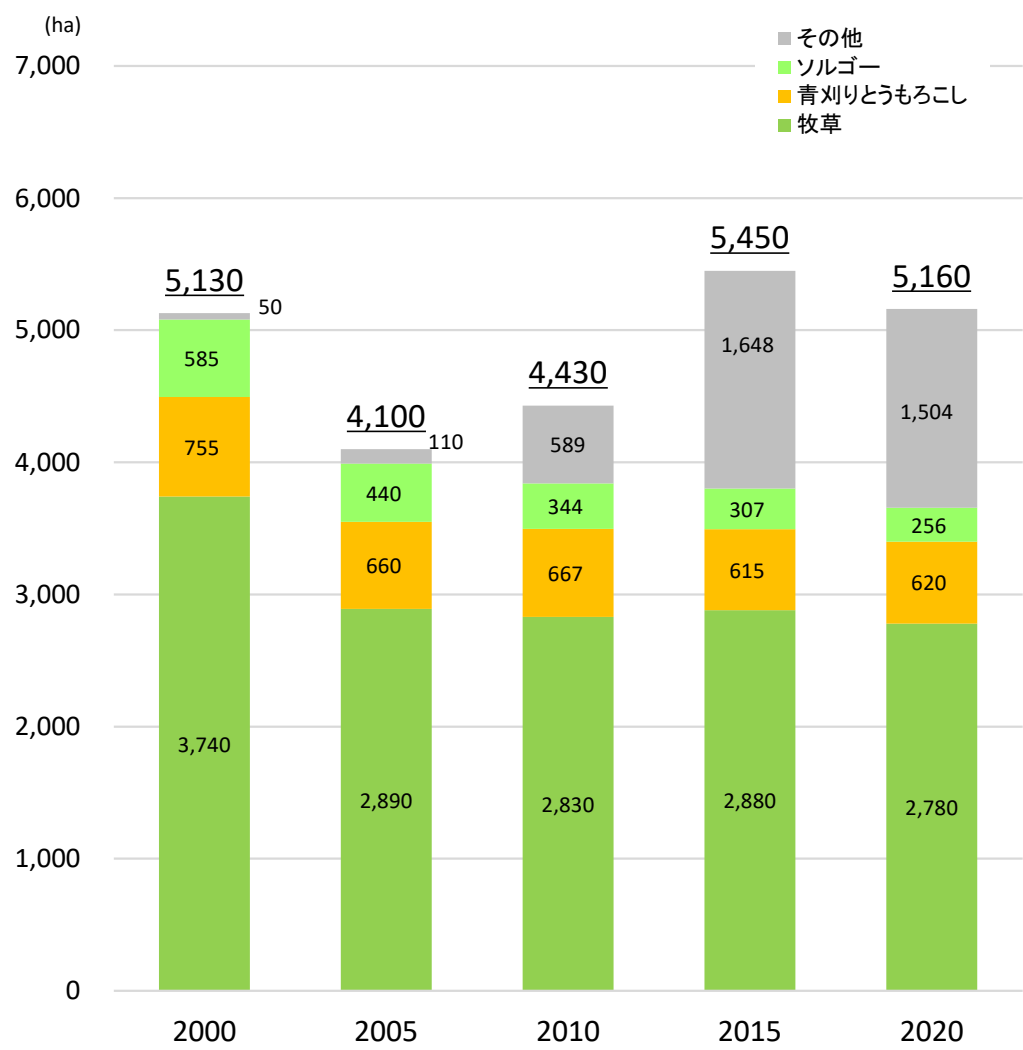


資料:農林水産省調べ
【乳用牛、肉用牛】
・ 2013年から2019年までは畜産統計調査の結果。
・ 2020年以降は、牛個体識別全国データベース等の行政記録情報や関係統計により集計した加工統計である。
【豚】
・ 2013年以降は畜産統計調査の結果。
・ 農林業センサス実施年により調査を休止。
【採卵鶏、ブロイラー】
・ 2013年以降は畜産統計調査の結果。
・ 農林業センサス実施年により調査を休止。
・ 2013年以降の数値は「1,000羽未満」の飼養者を含まない。
・ 1戸当たり成鶏めす飼養羽数の算出に用いる採卵鶏の飼養戸数には、成鶏めすを飼養していない者を含む。

24. 飼料作物の作付状況

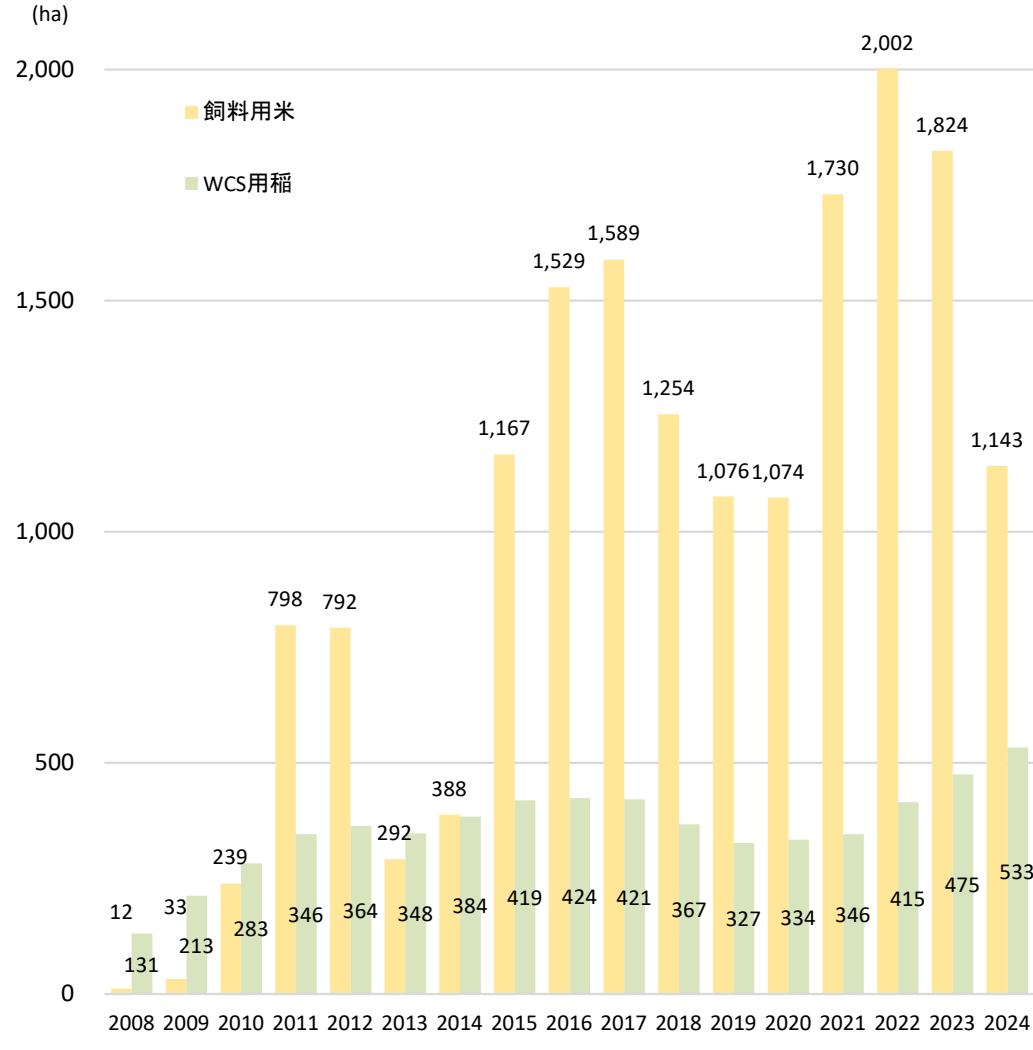
需要に応じた米生産の推進のため、主食用米とそれ以外（加工用米・新規需要米）を切り分けて取り扱うこととなっており、その中で「飼料用米」及び「WCS用稲（稲発酵粗飼料用稲）」の作付に対して助成措置を講じることにより、国産飼料の増産を図っている。

飼料作物の作付面積の推移（岡山県）



資料：農林水産省「作物統計」「新規需要米の取組計画認定状況（平成29年産～令和2年産）」
注：飼料用米、WCS用稲の作付面積については、平成29年産から掲載を開始した。

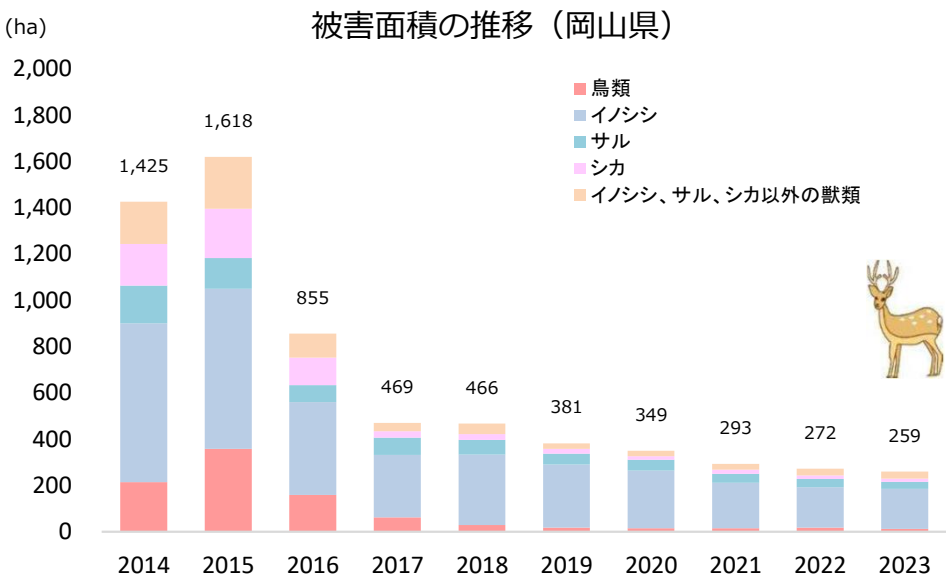
飼料用米及びWCS用稲の作付面積の推移（岡山県）



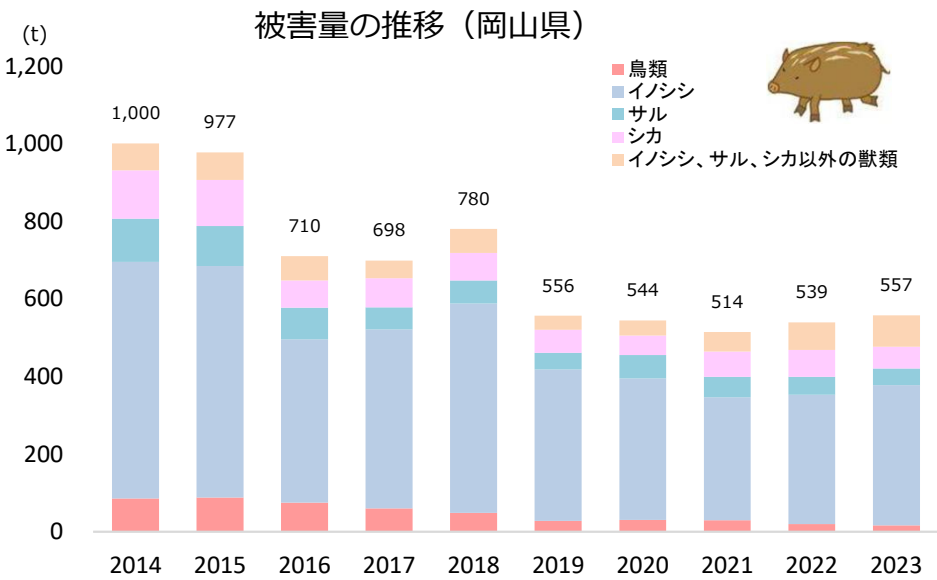
資料：農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移（平成20年産～令和6年産）」
注：面積は、農業者等が提出する取組計画のうち農林水産省が認定したものであり、作柄等が反映された実績ベースではない。

25. 野生鳥獣による農作物被害の推移

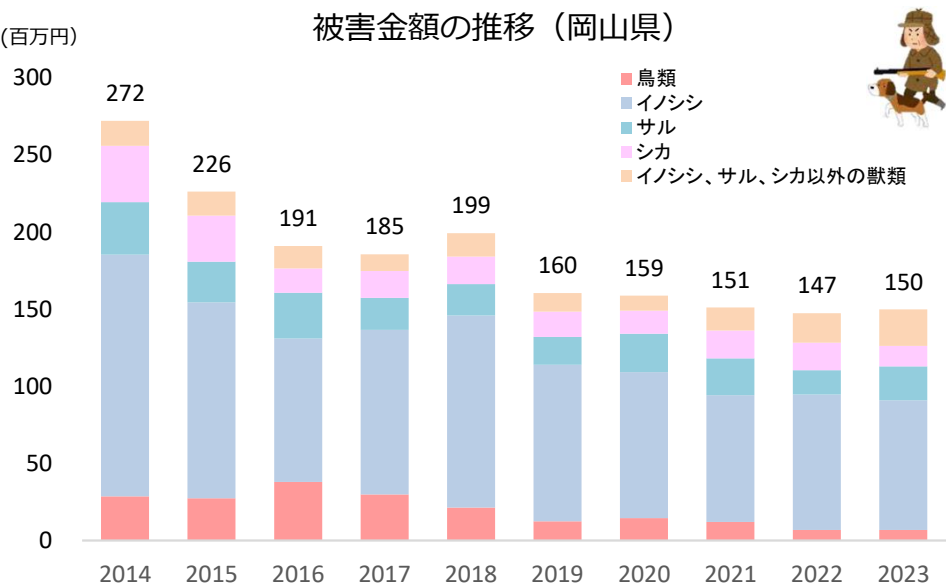
岡山県では、農作物の被害面積、被害量、被害金額ともに減少している。近年では、イノシシの被害が大半を占めている。



※資料:農林水産省「農作物被害状況調査」



※資料:農林水産省「農作物被害状況調査」



※資料:農林水産省「農作物被害状況調査」



26. 農林水産物・食品の輸出

- ・岡山県の主な輸出品目は青果物、ぶとう、もも、木材（ヒノキ）など。
- ・県内のGFP※の登録状況は、104業者。全国では、東京都（1,924件）が最も多く、次いで北海道（747件）、大阪府（496件）。

<岡山県の主な農林水産物の輸出状況>

品 目	区分	単位	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
桃	輸出量	t	22	27	24	41	25
	輸出金額	千円	25,112	31,663	29,000	55,388	39,867
ぶどう	輸出量	t	367	401	443	463	506
	輸出金額	千円	769,790	872,279	986,885	1,098,448	1,140,183
木材（ヒノキ）	輸出量	m³	8,006	10,405	11,726	9,798	4,175
	輸出金額	千円	365,000	494,000	626,000	667,000	342,000
計	輸出金額		1,159,902	1,397,942	1,641,885	1,820,836	1,522,050



台湾航空会社とのコラボPR(台北市)

資料：※岡山県独自調査(主要市場の卸売業者等を対象に調査)

<岡山県におけるGFP登録状況>

2025年 6月12日現在

区 分	登録者数
農林水産物食品事業者	68 (5,820)
流通事業者、物流事業者等	36 (4,705)
合計	104 (10,525)

※GFPとは、Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Projectの略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品輸出プロジェクト。



1億人ではなく、100億人を見据えた農林水産業へ。

総社もも生産組合 <https://www.facebook.com/soujamomo/> 「香港・台湾等へ桃を輸出」

- <事業者の概要>
1. 所在地：岡山県総社市門田 8 5
 2. 代表者：組合長 秋山 陽太郎
 3. 主な品目：白桃、恵白等
 4. 主な輸出先国：香港、台湾、シンガポール、インドネシア、アラブ首長国連邦等
 5. 事業概要：1968年に「日本一の桃作りと高収益・経営安定」を目的に組織。桃の樹が持つ力を最大限引き出す「岡山自然栽培栽培」で高品質な桃を生産。事務局は、JA晴れの国岡山。組合員数は12戸、栽培面積は15ha、平均年齢39歳の農業者で構成する生産組合。生産から選果・こん包まで一貫して行う完全共選。



- 【輸出の取組内容】
- ターゲットを富裕層とし、アジア圏の中元節・中秋節向けとして白桃を約20品種ラインナップ。現地販売先等から注文多数。
 - 直接取引は行わず、輸出に強い大田市場（東京都）や大阪市場本場（大阪市）の仲卸を通じた間接輸出。生産量に占める輸出の割合は、約1割弱。
 - 2018年アラブ首長国連邦及びオマーンへの輸出を開始。同年12月にオマーン大使館で開催されたレセプションに参加し、招待客に桃を提供した。

- 【取組経緯】
- 2008年頃から、JA晴れの国岡山（旧JA岡山西）と連携し、香港向けに白桃の輸出を開始。
 - 2012年から岡山県の呼びかけに応じて、台湾への桃輸出を開始。
 - 総社市に仲卸である現地合併会社を紹介され、2018年アラブ首長国連邦及びオマーンへの輸出が実現。
- 【課題と対応方法】
- 産地との関係
→アジアにおける日本産桃の知名度は高いが、産地との関係を深めるため、ターゲットを中東諸国にした。中東諸国は経済発展が著しく、富裕層が多い地域ながら日本産桃の流通は少なく、市場性が高いことから、新たな市場として開拓した。
 - 効果的なプロモーション
→海外における桃のプロモーションで、甘さよりも香りが良いと評価される。岡山産の桃は他産地より香りが強い点を売りに、プロモーションを展開。オマーン大使館のレセプションでは、招待客を通してPRを実施。

【実績】	
輸出額(万円)	輸出割合(%) (2020年)
2018年 1,000	香港 60
2019年 1,000	台湾 20
2020年 1,000	シンガポール 15
	その他 5

- 【今後の事業展開】
- ✓ E U諸国のバイヤーの参加する商談会への参加や、現地でのプロモーション活動を積極的に行い、市場規模が大きいE Uでの販路拡大を図る。
 - ✓ 中東向けに年間約1トンの輸出を目指す。（アラブ首長国連邦、オマーン、バーレーンなど）

27 . 岡山県のデータ①

- ・年間の降水量が少なく、日照時間は年間を通して長い。
- ・また、台風等による自然災害は少なく、被害額は他県と比べて少額。
- ・総人口は全国20位であるが、岡山市と倉敷市に約120万人が居住し、人口の約64%が集中。

<社会・生活基盤>

区 分	単位	全 国							全国順位 (岡山)
			中国	鳥取	島根	岡山	広島	山口	
総世帯数	千戸	55,830	3,133	220	270	801	1,244	599	1 8 位
総人口	千人	124,947	7,137	544	658	1,862	2,760	1,313	2 0 位
面積	km ²	377,975	31,921	3,507	6,708	7,115	8,479	6,113	1 7 位
人口密度	人/km ²	335.0	...	155.1	98.1	261.7	325.5	214.8	2 4 位
県内総生産（名目）	10億円	558,778	...	1,820	2,576	7,606	11,555	6,148	2 2 位
人口 1 人当たり県民所得	千円	3,123	...	2,313	2,768	2,665	2,969	2,960	3 3 位
1 人平均月額現金給与総額	円	325,817	...	271,486	280,253	298,848	324,870	303,623	2 0 位
1 世帯当たり預貯金残高	千円	14,497	...	13,429	14,307	14,453	12,639	12,639	2 0 位
総面積に占める可住地面積の割合	%	33.0	...	25.8	18.9	31.3	27.1	28.1	2 6 位
降水量（2023年）	mm	1,643.5	...	2,058.5	1,970.5	1,032.0	1,460.5	2,067.5	6 位
降水量 1mm 未満の日数（平年値）	日	247.4		207.0	216.1	276.7	271.7	250.5	1 位
日照時間（2023年）	h	2,157.9	...	1,936.3	1,894.4	2,200.6	2,179.0	2,019.1	2 1 位
自然災害被害額（2022年）	百万円	504,379	15,737	288	1,814	529	4,182	8,924	1 0 位
国勢調査による人口の推移（2020年）	千人	126,146	7,255	553	671	1,888	2,800	1342	2 0 位
				△40	△67	△29	△35	△123	
（2000年）	千人	126,926	7,438	613	762	1,951	2,879	1528	2 1 位

資料：101の指標からみた岡山県（令和6年版）等

27. 岡山県のデータ ②

- ・「くだもの王国」として、温暖な気候を生かして果樹生産が盛ん。
- ・交通アクセスの良さに加え、子育て・教育施設、医療・福祉施設などの都市機能が充実。

〈くだもの〉

温暖な気候を生かして、全国有数の質の高い農業が営まれています。清水白桃、マスカット・オブ・アレキサンドリア、ピオーネは全国一の生産量を誇っており、海外でも高く評価されています。おかやま夢白桃、オーロラブラック、シャインマスカットなどの生産振興にも取り組んでいます。



【清水白桃】



【マスカット・オブ・アレキサンドリア】



【ピオーネ】

・清水白桃

- (1) 生産状況（令和4(2022)年産）
栽培面積：225ha（全国1位）※農林水産省特産果樹生産動態等調査
- (2) 県内の主産地
岡山市、倉敷市、赤磐市等

・マスカット・オブ・アレキサンドリア

- (1) 生産状況（令和4(2022)年産）
栽培面積：38ha（全国1位）※農林水産省特産果実生産動態等調査
- (2) 県内の主産地
岡山市（津高、一宮など）、倉敷市（船穂町）等

・ピオーネ

- (1) 生産状況（令和4(2022)年産）
栽培面積：769ha（全国1位）※農林水産省特産果樹生産動態等調査
- (2) 県内の主産地
高梁市、岡山市、新見市等

〈全国上位の主な指標〉

- ・【都道府県立図書館個人貸出数】**全国第1位**
(岡山県：1,102,003冊、全国平均：330,878冊)

- ・【女性平均寿命】**全国第1位**
(岡山県：88.29歳、全国平均：87.60歳)

- ・【防犯ボランティア団体構成員数】(人口1万人当たり) **全国第2位**
(岡山県：378.4人、全国平均：199人)
- ・【大学・短大数】(人口10万人当たり) **全国第3位**
(岡山県：1.39校、全国平均：0.89校)

- ・【ごみのリサイクル率】**全国第6位**
(岡山県：24.1%、全国平均：19.9%)

- ・【美術館数】**全国第6位**
(岡山県：16館、全国：456館)

- ・【医師数】(人口10万人当たり) **全国第5位**
(岡山県：320.1人、全国平均：256.6人)

- ・【有効求人倍率】**全国第10位**
(岡山県：1.52倍、全国平均：1.28倍)
- ・【女性役員比率】**全国第10位**
(岡山県：26.9%、全国平均：24.6%)

資料：101の指標からみた岡山県（令和6年版）

28. 農業基礎データ①

- ・耕地面積は6万1,600haで全国21位。うち田が4万8,500ha、畑が1万3,200ha。
- ・農業経営体数は2万8,699経営体で全国15位。うち法人経営体が538経営体で26位。
- ・認定農業者数は2,807経営体で全国26位。うち法人数が463法人で28位。

耕地面積

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
耕地面積	61,600 ha	4,272,000 ha	21
田	48,500 ha	2,319,000 ha	17
畑	13,200 ha	1,952,000 ha	28
普通畑	8,980 ha	1,118,000 ha	23
樹園地	3,570 ha	248,600 ha	19
牧草地	609 ha	585,900 ha	22
参考) 総土地面積	711,444 ha	37,797,568 ha	17

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	11,246 ha	256,676 ha	9

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	17,990 ha	2,627,068 ha	31
集積率	29.2 %	61.5 %	39

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方
・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
・表中に使用した記号は次のとおり
「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)
「-」：事実のないもの
「…」：調査を欠くもの
「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。
「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
農業経営体数	28,699 経営体	1,075,705 経営体	15
法人経営体	538 経営体	30,707 経営体	26
総農家数	50,735 戸	1,747,079 戸	10
販売農家	27,937 戸	1,027,892 戸	14
参考) 世帯総数	801,409 世帯	55,830,154 世帯	18
集落営農数	260 集落営農	13,998 集落営農	23

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	29,253 人	1,363,038 人	21
男	18,637 人	822,144 人	20
女	10,616 人	540,894 人	24
65歳以上	24,031 人	948,621 人	19
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	82.1 %	69.6 %	-
認定農業者数	2,807 経営体	216,773 経営体	26
法人数	463 法人	29,117 法人	28
参考) 総人口数	1,888,432 人	126,146,099 人	20

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

28. 農業基礎データ ②

- ・ 農業産出額は1,772億円で全国20位。うち野菜が253億円（14.3%）、果実が305億円（17.2%）、畜産が857億円（48.4%）。
- ・ 農畜産物の生産状況は、ぶどうが全国3位、二条大麦、鶏卵が4位、ももが6位、れんこんが7位、生乳が9位。
- ・ 農業生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が189億円で全国25位、事業体数は270事業体で32位。

農業産出額

区 分	岡山県	全国	全国順位
農業産出額	1,772 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	20
米	305 億円 (17.2)	15,193 億円 (16.0)	18
麦類	8 億円	678 億円	10 *
雑穀	0 億円	77 億円	29
豆類	4 億円	572 億円	21
いも類	6 億円	2,301 億円	32
野菜	253 億円 (14.3)	23,243 億円 (24.5)	31
果実	305 億円 (17.2)	9,590 億円 (10.1)	10
花き	25 億円	3,522 億円	36
工芸農作物	1 億円	1,467 億円	41
その他作物	7 億円	585 億円	17 *
畜産	857 億円 (48.4)	37,212 億円 (39.2)	12
肉用牛	110 億円	7,696 億円	22
乳用牛	149 億円	9,249 億円	9
生乳	144 億円	8,310 億円	9
豚	36 億円	7,194 億円	32
鶏	562 億円	12,033 億円	5
鶏卵	433 億円	7,413 億円	4
ブロイラー	108 億円	4,471 億円	7 *
その他畜産物	1 億円	1,041 億円	31
加工農産物	0 億円	513 億円	36

出典：「令和5年生産農業所得統計」
注：（ ）は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	岡 山 県	全 国	全国順位
二条大麦	収穫量	R6	7,070 t	119,100 t	4 *
れんこん	収穫量	R5	1,150 t	56,200 t	7 *
もも	収穫量	R6	5,360 t	109,700 t	6
ぶどう	収穫量	R6	14,300 t	164,600 t	3
乳用牛	飼養頭数	R6	15,400 頭	1,313,000 頭	10
ブロイラー	飼養羽数	R6	2,840 千羽	144,859 千羽	11 *
生乳	生産量	R5	109,144 t	7,298,933 t	9
鶏卵	生産量	R5	135,838 t	2,426,940 t	4

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」、「畜産物流通統計」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分		岡 山 県	全 国	全国順位
農産加工	総額	3,708 百万円	999,786 百万円	42
	事業体数	540 事業体	27,760 事業体	22
農産物直売所	総額	18,933 百万円	1,126,420 百万円	25
	事業体数	270 事業体	21,240 事業体	32
観光農園	総額	823 百万円	37,281 百万円	16
	経営体数	50 経営体	5,050 経営体	26
農家民宿	総額	30 百万円	5,352 百万円	31 *
	経営体数	10 経営体	1,140 経営体	26 *
農家レストラン	総額	435 百万円	39,434 百万円	31 *
	事業体数	20 事業体	1,360 事業体	21 *

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

29. 林業基礎データ

- ・ 林業産出額は70.3億円で全国24位。うち木材生産が55.0億円、栽培きのこ類生産が14.5億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国18位、ひのきが全国4位、木質粒状燃料が全国2位、竹材が5位。

林業産出額

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
林業産出額	70.3 億円	5,562.5 億円	24
木材生産	55.0 億円	3,257.0 億円	16 *
栽培きのこ類生産	14.5 億円	2,199.2 億円	26

出典：「令和5年林業産出額」

林野面積

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
林野面積	488,606 ha	24,770,201 ha	17
国有林	37,036 ha	7,153,338 ha	24
民有林	451,570 ha	17,616,863 ha	12
人工林面積	205,764 ha	10,133,111 ha	18

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,174 経営体	34,001 経営体	8
法人経営体	82 経営体	4,093 経営体	17

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
素材生産量	384 千m ³	20,647 千m ³	18 *
針葉樹	358 千m ³	18,926 千m ³	17
あかまつ・くろまつ	4 千m ³	494 千m ³	14 *
ひのき	238 千m ³	3,180 千m ³	4
広葉樹	26 千m ³	1,721 千m ³	15 *
木質粒状燃料	生産量 25,322 t	158,646 t	2 *
竹材	生産量 28 千束	898 千束	5

出典：「令和5年木材需給報告書」、「令和5年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
工場数	58 工場	3,749 工場	34
製材用素材の入荷があった工場数	58 工場	3,722 工場	34
国産材のみ	58 工場	3,116 工場	28
国産材と輸入材	- 工場	511 工場	-

出典：「令和5年木材需給報告書」

30. 漁業基礎データ

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は71億円で全国35位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のいかなごが全国 4 位、海面養殖業のかき類が 3 位、内水面漁業のふなが 1 位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売金額が 7 億 4 千万円で全国17位、事業体数は20事業体で11位。

漁業産出額

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	71 億円	15,265 億円	35

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	742 経営体	65,662 経営体	29
内水面漁業経営体数	38 経営体	4,076 経営体	28

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	992 人	121,389 人	32
男	864 人	109,757 人	34
女	128 人	11,632 人	17

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
漁船隻数	1,418 隻	109,283 隻	27
動力漁船	1,015 隻	58,906 隻	23

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	岡 山 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	19,804 t	3,777,920 t	30 *
海面漁業漁獲量	3,127 t	2,926,411 t	38
いかなご	116 t	2,196 t	4 *
海面養殖業収獲量	16,677 t	851,509 t	16 *
かき類	11,557 t	149,064 t	3 *
内水面漁業・養殖業生産量	238 t	51,908 t	26 *
内水面漁業漁獲量	179 t	21,567 t	10
ふな	126 t	284 t	1
内水面養殖業収獲量	59 t	30,341 t	29 *
その他ます類	34 t	2,067 t	13 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分		岡 山 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	760 百万円	179,159 百万円	27 *
	事業体数	10 事業体	1,220 事業体	25 *
水産物直売所	総額	742 百万円	34,988 百万円	17 *
	事業体数	20 事業体	810 事業体	11 *
漁家民宿	総額	34 百万円	5,389 百万円	26 *
	経営体数	0 経営体	540 経営体	29 *
漁家レストラン	総額	41 百万円	13,249 百万円	30 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8 *

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

31. 農林水産業の話題等

担い手の確保・育成

人口減少や高齢化などにより、基幹的農業従事者の減少が急速に進むことが想定される中、岡山県の新規就農者は、令和元（2019）年度から令和5（2023）年度までの5年間で県内外から約800人が就農し、水稲作付面積10ha以上の経営体の数も増加するなど、次代を担う力強い担い手の確保・育成も進んでいる。引き続き、岡山県農業の魅力や充実した研修制度のPRに取り組む。

また、持続可能な経営体の育成や担い手への農地集積・集約化、スマート農業等により、生産性の向上を図る。

果樹振興とブランド確立

高い競争力を誇る岡山県産のもも、ぶどうは、全国的に栽培面積が減少する中、生産基盤の整備や新規就農者の確保・育成などを一体的に取り組むことにより出荷量が増加している。また、輸出金額においても、年々増加している。

今後、もも、ぶどうのほか、冬から春に出荷する「晴莓」の生産量増加を推進する。

また、強みである品質の高さを生かした「くだもの王国おかやま」のブランド確立に向け、生産体制の強化と輸出拡大を図る。

具体的には、産地の規模拡大や生産性の向上に取り組むとともに、重点市場の台湾、香港、シンガポールを中心に積極的なプロモーション活動を展開する。また、大阪・関西万博の機会を活用した情報発信など、効果的な取組を行う。

持続可能な農林水産業の実現

おかやま有機無農薬農業など有機農業の取組拡大や化学肥料・農薬の使用量低減、施設園芸の省エネルギー化や農林水産業での燃油使用量削減等による温室効果ガスの排出削減、家畜排せつ物の適正な管理、プラスチック被覆肥料の被膜殻の流出防止対策と代替肥料の普及拡大、稲わらの活用など、市町村等と連携し、環境負荷低減の取組を進める。

有機農業については、国際水準以上の有機農業の面積拡大に向けて、研修会の開催や産地づくり、実需者との意見交換などに取り組む。



ぶどう栽培研修会の様子
出典：岡山県HP



おかやまのくだもの
出典：岡山県HP



おかやま有機無農薬農産物等研修会
出典：岡山県HP